

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00176)

事務事業名称 障害者の社会参加支援			款 04	項 01	目 03	事業 004	整理番号 188			
現担当課名 障害者施策課		係名 管理係		連絡先電話番号 1148		昨年度整理番号 183				
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業				
事業開始 平成18年度		実行計画事業 目標 04 施策 16 計画事業 03			主要事業(区政経営報告書掲載事業)					
平成29年度担当課名 障害者施策課							事業評価区分 一般			
対象 身体障害者、知的障害者、精神障害者 など		根拠法令等 (1) (2)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第77条						
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか) 障害者が住み慣れた地域で、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようにする。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)		移動支援事業利用者数 移動支援事業年間実利用者数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段) 屋外での移動困難な障害者の社会参加を促すためガイドヘルパーを派遣する。社会参加促進事業(各種講習会、自動車改造費助成等)、意思疎通支援(手話通訳者・要約筆記者派遣等)、地域活動支援センター等の利用は、対象者の申請に基づき、各事業の資格要件を判断した上でサービスを給付または助成する。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明		手話通訳者・要約筆記者派遣回数 手話通訳・要約筆記者を派遣した回数					
	区分		単位	平成27年度 実績	平成28年度 計画 実績		平成29年度 計画 実績		平成30年度 計画	平成29年度 対計画比(%)
	指標		1 人	840	965	862	1,030	897	1,100	87.1
成果指標(1)		3 回	981	1,200	1,097	1,267	1,176	1,300	92.8	
事業費		5 千円	463,689	495,913	492,079	508,738	498,141	482,152	平成29年度 予算執行率(%) 97.9	
(内)投資的経費等		6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 活動指標(1)の移動支援事業利用者数は、今まで月平均利用者数であったが、施策評価、実行計画の目標数値等に合わせ年間の実人数に変更した。	
(内)委託費		7 千円	438,093	468,640	467,164	482,237	473,261	456,355		
職員数		8 人	3.82	3.82	4.18	4.18	4.09	4.09		
再任用職員数		9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
非常勤職員数		10 人	5.00	5.00	5.00	5.00	3.00	3.00		
人件費		11 千円	33,414	33,414	35,789	35,789	35,137	35,137		
再任用職員分		12 千円	0	0	0	0	0	0		
非常勤職員分		13 千円	14,675	14,675	14,855	14,855	8,832	8,832		
総事業費 (5+11+12+13)		14 千円	511,778	544,002	542,723	559,382	542,110	526,121		
単位当たりコスト (14-6)÷1		15 円	609,260	563,733	629,609	543,089	604,359	478,292		
財源		16 千円	2,057	2,083	2,113	2,125	2,020	2,168		
国からの補助金等		17 千円	126,706	134,358	130,284	136,439	137,222	12,949		
都からの補助金等		18 千円	72,063	75,889	74,509	77,076	78,203	73,762		
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	200,826	212,330	206,906	215,640	217,445	88,879		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	310,952	331,672	335,817	343,742	324,665	437,242		
受益者負担比率 (16÷14)		22 %	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4		

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	188
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	移動支援事業委託	75,116	回	452,331
		手話通訳者・要約筆記者派遣	1,176	回	10,686
		地域活動支援センター事業（運営：直営1所、補助事業所1所）	2	所	24,065
	(2) 事業実績	<p>移動支援事業は、利用人数・利用回数とも一貫して増加傾向にあり、需要の伸びが続いています。安定したサービスが提供できるよう、ガイドヘルパー増員のために、すぎなみ地域大学と協働でガイドヘルパー養成講座を実施し、平成29年度の有資格者は128人となっています。</p> <p>手話通訳者・要約筆記者派遣事業は、平成28年度と比較して79件の増となり引き続き増加傾向にあります。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成18年10月の障害者自立支援法本格施行に伴い、事業の再編・新規事業を開始しました。その後法の見直しが行われ、平成24年度には自立支援法、児童福祉法の改正により民間の相談支援事業所の役割が拡大しました。</p> <p>平成25年4月に障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）が施行され、身体・知的・精神の3障害に難病等が追加されました。</p> <p>障害者総合支援法施行3年後の平成28年4月に、サービスや基準等の見直しが行われました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>障害者社会参加活動の中心事業の一つである移動支援事業には、余暇・社会参加活動だけでなく、通所・通学に利用したい、また対象を引き下げて、小学生低学年から利用したい、さらには通所・通学先を起点として利用したい、身体・精神障害者の基準を緩和してほしいなど、柔軟な利用への要望が数多く寄せられています。</p> <p>手話通訳者・要約筆記者派遣事業は、派遣費の増額等の要望が引き続き寄せられています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>障害者の要望は、障害の種類・程度、また家庭や社会状況等によって異なり、その内容は今後ますます多様化していくことが予想されます。柔軟な利用が期待できる移動支援事業の需要も高まり、利用希望者も増加が続いています。そのため、利用率や一人当たりの利用時間数の増が見込まれます。</p> <p>手話通訳者・要約筆記者の利用者数は障害者差別解消法施行に伴い増加が見込まれますが、民間事業所における合理的配慮の提供が進み、事業所自ら依頼するケースが増えることで、障害のある当事者が区に依頼する利用者は横ばいになると推測されます。</p>			
	評価と課題	<p>移動支援は障害者の社会参加を促進する基幹となる事業であり、利用件数は増え続けています。利用基準の緩和などの要望も多く、個々の障害や能力に応じて適切な支援ができるように見直ししていきます。また、移動支援事業の見直しに伴い、担い手であるガイドヘルパーを養成していくとともに、質の向上、有資格者の就労定着支援等を検討していきます。</p> <p>手話通訳者・要約筆記者派遣等の意思疎通支援事業は、利用者のニーズが多様化しているため、派遣対象の範囲等を検討していきます。また、区直営の地域活動支援センター事業は、利用者のニーズを踏まえ、事業のあり方を引き続き検討していきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・対象の見直し		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>移動支援事業では、対象者、支援方法などをニーズと財政の両面から検討したうえで見直し、個々の障害や能力に応じて適切な支援ができるよう拡充しています。あわせて、見直し業務に対応できるように、システムの活用等の事務処理の効率化を図っていきます。</p> <p>区直営の地域活動支援センターは、利用者のニーズを踏まえて、あり方全般について引き続き検討していきます。</p> <p>手話通訳者・要約筆記者派遣等の意思疎通支援事業は、多様な派遣依頼に対応できるよう、派遣対象の範囲等を他区の状況を踏まえて検討していきます。</p>			

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00178)

事務事業名称		障害者福祉の啓発			款	04	項	01	目	03	事業	007	整理番号	191	
現担当課名		障害者施策課			係名	管理係			連絡先電話番号	1139		昨年度整理番号	186		
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和51年度													
	平成29年度担当課名	障害者施策課											事業評価区分	一般	
	対象	区内在住で障害者手帳を取得している障害者、支援者及び関係機関。障害者福祉推進連絡協議会委員。			根拠法令等	(1)		障害者基本法第5、7、23条							
						(2)		杉並区障害者福祉推進連絡協議会設置要綱							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害のある人もない人もお互いに触れ合う機会を通じて、ノーマライゼーションの理念についての理解と認識を深める。障害者の生活に役立つ情報を正確かつ迅速に提供し、必要な情報を誰でも容易に得ることを可能にする。			活動指標	指標名(1)		「ふれあいフェスタ」参加団体・作業所数							
					指標名(2)		「ふれあい美術展」出展数								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	障害者福祉及び関連施策の推進を図るため、杉並区障害者福祉推進連絡協議会を開催する。障害者の生活支援サイト「のーまらいふ杉並」を運営する。アクセシビリティに十分配慮し、誰もが使いやすいサイト作りに取り組む。「心身障害者のてびき」を3年ごとに発行する。「ふれあいフェスタ」などの各種催しを障害者週間事業として実施する。			成果指標	指標名(1)		障害者生活支援サイト「のーまらいふ杉並」年間アクセス数								
					指標名(2)		障害者福祉推進連絡協議会開催回数								
					指標説明										
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 組	43	50	44	50	43	50	86.0						
	活動指標(2)	2 点	282	300	243	300	236	300	78.7						
	成果指標(1)	3 件	193,439	230,000	133,855	200,000	170,052	210,000	85.0						
	成果指標(2)	4 回	3	3	3	3	3	3	100.0						
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	8,811	19,170	16,689	3,559	3,252	2,668	平成29年度予算執行率(%)	91.4					
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	6,623	7,491	6,294	150	110	150							
	職員数	常勤職員数	8 人	2.80	3.00	2.00	1.80	1.80	1.80						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.20	0.20	0.20	0.40	0.40	0.40						
	人件費	常勤職員分	11 千円	24,492	26,241	17,124	15,412	15,464	15,464						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	587	587	594	1,188	1,178	1,178						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	33,890	45,998	34,407	20,159	19,894	19,310							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	788,140	919,960	781,977	403,180	462,651	386,200							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	3,051	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	3,051	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21 千円	30,839	45,998	34,407	20,159	19,894	19,310							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号 191			
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	障害者週間事業の開催			893
		障害者福祉推進連絡協議会経費			335
	(2) 事業実績	その他（管理事務費・郵送費ほか） 2,024			
		障害者福祉関連情報に特化したサイト「のーまらいふ杉並」については、障害者が利用しやすいサイト構成、必要な情報がタイムリーに提供できるよう努めました。また、平成29年12月には、区と障害者団体連合会が共催して障害者週間事業を実施し、ふれあいフェスタ、ふれあい美術展、団体・施設の活動パネル展などを開催しました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	平成15年度より、障害者自立生活者等表彰の対象に精神障害者を加え、三障害すべてを対象としました。杉並区障害者週間事業と一体で開催していた社会福祉協議会が主催する「うるフェスタ」が平成21年度で終了となりました。平成25年4月に「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」が施行されたことにより三障害に難病等が追加され、障害福祉サービス等の対象者が拡大しました。平成28年4月から、障害者差別の解消に向けて「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を求める「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	家族や障害者本人の高齢化や障害の重度化等、障害者の実態に合わせた施策を実施するとともに、サービスや制度の変更の際には、迅速かつ正確な情報の提供を実施していく必要があります。また、法律等がたびたび改正される中で、これらに関する情報がない、知らなかったという声がありました。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	障害者関連の情報に特化した障害者支援サイト「のーまらいふ杉並」や、情報誌である「障害者のてびき」の発行にあたっては、障害特性に合わせた情報提供に努めていきます。平成28年度には「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の施行に伴い、差別解消に向けた取組を進めていますが、十分に解消には至っていない状況です。今後も、より多くの区民・事業者等に理解してもらうための働きかけ等を、サイト・週間事業など様々な方法で実施していきます。			
	評価と課題	障害者支援サイト「のーまらいふ杉並」では、制度改正など障害者の生活に関わる情報やなど社会参加に役立つイベントなどの障害福祉関連の情報をわかりやすく発信できるよう努めています。さらに今後は、より障害特性に合わせた情報の提供など、様々な媒体で発信できるよう検討していきます。「ふれあいフェスタ」を始めとした障害者週間事業については、障害の有無に関わらず多くの方が参加することができ、意識啓発につながるイベント内容となるよう、実施体制の有り方を含め障害者団体連合会と検討していきます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	障害者生活支援サイト「のーまらいふ杉並」は、障害者へ最新の情報を提供する有効なツールです。「のーまらいふ杉並」の独自性（障害者向けに特化したサイト内容・等級AAのウェブアクセシビリティ等）が損なわれぬよう、障害者福祉関連の情報を集約し、発展させます。また、平成31年度は「心身障害者のてびき」の3年に一度の発行の年ため経費は拡大となります。広告収入により経費の削減を図りながら、障害特性に合わせた情報の提供ができるよう工夫していきます。ふれあいフェスタでは、障害のある方とない方の交流を契機に、地域で社会生活を営む障害のある方等に対する理解を更に深めるための区民ボランティアを活用したイベントで、より多くの区民が参加できるよう実施方法などを検討していきます。			

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00179)

事務事業名称 障害者団体への助成			款 04	項 01	目 03	事業 008	整理番号 192			
現担当課名 障害者施策課		係名 管理係	連絡先電話番号 1142		昨年度整理番号 187					
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和39年度								
	平成29年度担当課名	障害者施策課			事業評価区分	一般				
	対象	区内の障害者、一般区民、心身障害者団体		根拠法令等 (1) (2)	障害者基本法第3条、第4条 杉並区心身障害者団体助成要綱					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害者の団体活動を支援することにより、障害者の自立や社会参加の機会を拡大する。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	団体の事業開催回数 団体事業活動の参加者数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	心身障害者団体の運営や活動に係る経費の一部を助成する。 心身障害者の生涯学習事業に係る経費の一部を助成する。 障害者と健常者の相互理解を促進する「ふれあい運動会」を実施する。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	活動参加者数対前年度比					
区分		単位	平成27年度 実績	平成28年度 計画	平成28年度 実績	平成29年度 計画 (目標値)	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成29年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 回	119	149	115	115	129	133	112.2	
	活動指標(2)	2 人	2,716	2,816	2,750	2,800	1,782	2,682	63.6	
	成果指標(1)	3 %	102.1	99.5	101.2	99.4	64.8	95.8	65.2	
	成果指標(2)	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	9,672	12,000	9,552	9,999	9,377	11,342	平成29年度 予算執行率(%) 93.8	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 平成29年度の事業費は、実績を踏まえ予算額を削減したため、予算執行率が10%以上、上昇しました。	
	(内)委託費	7 千円	8	8	5	8	8	8		
	職員数	常勤職員数	8 人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00		1.00
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.10	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	8,747	8,747	8,562	8,562	8,591		8,591
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	297	0		0
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	18,419	20,747	18,114	18,858	17,968	19,933		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	154,782	139,242	157,513	163,983	139,287	149,872		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源(14-20)		21 千円	18,419	20,747	18,114	18,858	17,968	19,933		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	192
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		心身障害者団体への運営経費の助成	15	団体	9,331
		その他(ふれあい運動会準備費、消耗品の購入、郵券購入ほか)			46
	(2) 事業実績	心身障害者団体への運営経費等の一部を助成することにより、障害者の方々のより積極的な社会参加の機会の提供につなげることができています。団体の活動数は28年度に比べ増えています。平成29年度はふれあい運動会が悪天候のため中止となったことなどにより、活動に参加した人数は減っています。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	心身障害者団体(助成団体)は、当初10団体から始まり、平成22・23年度は15団体、平成24年度からは16団体、平成25・26年度からは15団体、平成27年度は14団体、平成28・29年度は15団体に対して運営活動経費の一部を助成しています。 親子スポーツ教室に対する助成は、平成20年度で終了しました。 ふれあい運動会は昭和61年に開始し、平成4年からは一般区民を含めた実行委員会形式により実施しています。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	障害者の自立や社会参加の機会を促進する事業を継続するため、区からの団体助成について維持を望む声が強いです。特に、その時々々の社会情勢や各団体の実情など、より実態に即した支援が望まれています。 各事業には一般区民や学生が多くボランティア等として参加しており、障害理解、福祉教育及びボランティア育成の足がかりとしても意義のあるという声が多く聞かれています。			
	今後(3~5年)の予測と方向性	年齢の若い障害当事者は団体に加入することに積極的でないこと、また現会員の高齢化も相まって、会員数、実活動人数の減少が顕著となっています。個々の団体に対し適切に支援をしていくことに加え、障害者団体連合会やその他の関係機関と連携しながら、団体活動の周知や障害のある人、無い人を含めた交流の場を広げていきます。そして障害者が住み慣れた地域でいきいきと社会参加ができるよう、団体活動の活性化に努めていきます。			
	評価と課題	団体助成については、団体活動の一助として、その時々々の社会情勢や団体の実情に見合った適切な支援ができるよう、適宜、運営事務経費等助成金分配基準の見直しを図っていきます。また、多くの団体では会員の高齢化などにより会員数の減少がみられます。障害者の自立や社会参加の機会を広げる場として団体活動は大切であり、財政支援だけでなく活動が活性化できるよう働きかけていきます。 ふれあい運動会は、障害のある人もない人もともに参加し、交流することができる場となっており、障害者の積極的な社会参加の推進や相互理解に寄与しています。また、中学生ボランティアが参加するなど、誰もが共生できる地域社会づくりに貢献しており、今後も障害者団体、区民とともに事業の発展に努めていきます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	障害者団体活動は、障害者の社会参加だけでなく、障害の有無にかかわらず互いに親睦を深め、情報を共有することができるなど、障害者が地域の中で生活していく上で非常に有効な活動です。また、区にとっても、障害者の意見や要望を収集できる貴重な情報源となっていることから、今後も実態に即した支援を継続していきます。 一方で、多くの団体では高齢化などにより活動自体が硬直化している部分も見受けられるので、財政支援のみならず、団体活動の周知を図ることで新規会員の加入につなげ、団体活動の活性化を図ることができるよう働きかけを行っていきます。また、助成申請などの手続きについても障害者団体連合会等と連携しながら、わかりやすい案内に努めていきます。			

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00181)

事務事業名称		障害者通所施設支援事業			款	04	項	01	目	03	事業	010	整理番号	193	
現担当課名		障害者生活支援課			係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	188		
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成19年度													
	平成29年度担当課名	障害者生活支援課											事業評価区分	一般	
	対象	障害者総合支援法に規定する障害福祉サービス事業所を運営する法人及びその施設に通所する個人			根拠法令等	(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律							
						(2)		杉並区障害者通所施設サービス推進事業補助金交付要綱							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害者総合支援法に基づき生活介護、自立訓練、就労移行支援又は就労継続支援のサービス事業所を運営する法人に対し、必要な経費を助成することにより、施設の安定した経営と通所者の負担軽減を図る。			活動指標	指標名(1)		送迎サービス対象施設数							
					指標説明		障害福祉サービス事業所施設数								
					指標名(2)		障害福祉サービス事業所施設数								
					指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	サービス推進事業補助金の算定基準に基づき、事業所の運営に必要な経費を助成する。送迎サービスを実施する民営施設に対して、その費用の全部又は一部を補助する。小規模作業所又は精神障害者共同作業所から移行した事業所に対して、施設の借り上げ費を補助する。通所者に対して交通費等の負担軽減を行っている法人に、その費用を補助する。			成果指標	指標名(1)		送迎サービス利用施設通所者数								
					指標説明		障害福祉サービス事業所通所者数								
					指標名(2)		障害福祉サービス事業所通所者数								
					指標説明										
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 所	6	6	6	6	5	6	83.3						
	活動指標(2)	2 所	28	28	28	28	30	30	107.1						
	成果指標(1)	3 人	53	60	62	60	54	60	90.0						
	成果指標(2)	4 人	1,253	1,038	1,244	1,063	1,233	1,086	116.0						
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	426,281	461,226	419,733	454,215	430,019	455,188	平成29年度予算執行率(%)	94.7					
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	22	23	17	23	22	23							
	職員数	常勤職員数	8 人	0.83	0.83	0.57	0.57	0.54	0.54						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.20						
	人件費	常勤職員分	11 千円	7,260	7,260	4,880	4,880	4,639	4,639						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	589	589						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	433,541	468,486	424,613	459,095	435,247	460,416							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	72,256,833	78,081,000	70,768,833	76,515,833	87,049,400	76,736,000							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	254,631	252,198	249,361	249,921	258,938	259,086						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	254,631	252,198	249,361	249,921	258,938	259,086							
差引：一般財源(14-20)		21 千円	178,910	216,288	175,252	209,174	176,309	201,330							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	193
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		通所サービス利用促進事業(送迎サービス支援)	5	所	5,341
		日中活動系サービス推進事業	30	所	258,825
		訓練等給付交通費等助成	31	所	46,337
		訓練等給付施設借上費助成ほか	16	所	119,472
		その他(事務費、郵送料)			44
(2) 事業実績	<p>小規模作業所等から新体系への移行は平成23年度末をもって終了しました。移行した施設に運営費等の助成を行い円滑な運営が行われています。</p> <p>平成29年度は事業所の新規開設が1所、既存の多機能型事業所の分離が1所ありました。そのため、助成対象施設数が増加しました。送迎サービス支援については、送迎サービス利用者の増加に伴い送迎加算額が区の補助基準額を超えたため交付に至らない事業所が1所ありました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>この事業は、事業者の家賃補助等を行う「訓練等給付施設整備費助成」事業、利用者の交通費や給食費を助成する「訓練等給付交通費及び給食費助成」事業、利用者の送迎支援を行う「送迎支援事業」、運営経費を補助する「障害者日中活動系サービス推進事業」事業等から成っています。送迎支援事業として、平成20年度以降は車両購入費を除いた人件費等の運営費を助成しました。さらに平成24年度から送迎加算が報酬化されたため、送迎加算額を差し引いた額を補助しました。平成27年度には障害福祉サービス等報酬改定によって送迎加算が見直されました。</p> <p>平成23年度末をもって、障害者総合支援法に基づく新体系への移行が完了しました。現在は移行した施設に運営費等の助成を行い円滑な運営が行われています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>通所施設の増設など、日中活動の場を確保するとともに、今後も通所にかかる交通費の補助を継続してほしいとの声が寄せられました。</p> <p>また、高齢化・重度化に伴い、自主通所が困難となっている施設利用者に対しても送迎サービスの提供を求める声が寄せられています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>各事業所が補助金に頼らない自立した方向に進むことが期待されます。一方で、利用者の高齢化・重度化に伴い、利用者の送迎サービスの需要が高まっていくことが予想されます。</p> <p>今後は、通所者の負担軽減なども考慮しつつ、各事業所が補助金に頼らない自立した運営ができるよう働きかけていきます。また、各施設利用者の実態を踏まえ、国や東京都、近隣区等の動向を参考に利用者送迎サービスの需要に対応していきます。</p>			
評価と課題	<p>障害者自立支援法(現在の障害者総合支援法)が平成18年に施行されてから、旧法施設、小規模作業所等の新体系への移行が平成23年度で完了し、各事業所の運営も安定してきました。</p> <p>一方で、利用者の高齢化・重度化に伴い、利用者の送迎サービスの需要が高まることを見込まれるため、利用者送迎サービスについて検討していきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>本事業は、各施設の安定した自立運営を支援するため、運営費等の補助を行っています。施設利用者の高齢化・重度化に伴い、送迎サービス支援の需要が高まっていることを踏まえて、国や東京都、近隣区市の動きを見つつ、補助内容について検証を行います。また、補助金の執行事務処理体制を見直し、より適正な支給事務に努めます。</p>			

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00182）

事務事業名称 公益財団法人 杉並区障害者雇用支援事業団				款 04	項 01	目 03	事業 011	整理番号 194		
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係		連絡先電話番号 2275		昨年度整理番号 189				
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分 既定事業			
事業開始 平成10年度		実行計画事業 目標 04 施策 16 計画事業 02		主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
平成29年度担当課名 障害者生活支援課		事業評価区分 一般								
対象 公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団		根拠法令等 (1) 杉並区公益財団法人に対する助成に関する条例 (2) 障害者の雇用の促進に関する法律								
事務事業の概要	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか） 公益財団法人障害者雇用支援事業団が、その設立目標である障害者の雇用支援に関する事業を活発に行なうことができるよう、財団運営の安定に資する。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明		雇用支援対象者数（就労移行支援事業登録者数+新規登録者数） 職場定着支援件数					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段） 公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団に対して、必要な経費を助成する。区市町村障害者就労支援事業を委託し、実施する。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明		就職者の割合 事業団からの就職者数÷雇用支援対象者数 過年度からの継続就労者 4月1日時点の利用者のうち、過年度に就職して4月1日時点で就労が継続している者の数					
区分		単位	平成27年度 実績	平成28年度 計画 実績		平成29年度 計画（目標値） 実績		平成30年度 計画	平成29年度 対計画比(%)	
指標	活動指標（1）	1 人	106	125	137	130	146	135	112.3	
	活動指標（2）	2 件	9,069	10,000	5,615	6,000	5,070	6,000	84.5	
	成果指標（1）	3 %	58.4	70	45.3	70	45.9	70	65.6	
	成果指標（2）	4 人	507	550	462	500	512	535	102.4	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	73,591	83,800	79,796	86,098	78,228	86,116	平成29年度 予算執行率(%) 90.9	
	（内）投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	（内）委託費	7 千円	62,736	70,494	66,490	72,496	64,824	72,519		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.71	0.71	0.69	0.69	0.54	0.75	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11 千円	6,210	6,210	5,908	5,908	4,639	6,443	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	79,801	90,010	85,704	92,006	82,867	92,559		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	752,840	720,080	625,577	707,738	567,582	685,622		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	2,272	2,368	2,342	2,387	2,368	2,359	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	2,272	2,368	2,342	2,387	2,368	2,359		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	77,529	87,642	83,362	89,619	80,499	90,200		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		194	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		運営費助成			
		区市町村就労支援事業委託			64,824
		その他()			
平成29年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>平成29年度に杉並区障害者雇用支援事業団(以下ワークサポート杉並)から支援を受けた就職者数は67人、ワークサポート杉並に新規登録した障害者は118人でした。ワークサポート杉並では、就労希望の障害者や現に就労している障害者への相談支援を行っているほか、企業を訪問し職場開拓や企業実習の場の確保や企業に対して障害者への合理的配慮の理解促進に取り組んでおり、平成29年度に企業訪問した件数は、延べ511件でした。また、就労した障害者が安定して就労が継続できるよう、障害者と企業に対し、雇用定着支援を行っています。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成18年4月から障害者自立支援法が施行されたことにより、地域における障害者の自立生活の実現に向けた就労支援体制の強化充実が図られました。国の障害者雇用施策の強化により障害者雇用に対する企業意識も高まりました。平成24年度には障害者雇用促進法の改正により、雇用支援センターから、法内の就労移行支援事業に移行しました。平成25年度に財団法人から公益財団法人へと移行しました。障害者雇用促進法の改定に伴い、法定雇用率が引き上げられており、平成30年度の改定では、法定雇用率が2.5%に引き上げられました。また、就労相談には、知的障害、身体障害、精神障害に加え、高次脳機能障害、発達障害などの障害者も増加し、障害種別も多岐に渡っています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>精神障害、発達障害、高次脳機能障害、難病など個々の障害特性に応じた就労支援が求められています。また、教育機関からの就労者が増えており、就労情報の提供や卒業後の定着支援が求められています。就労している障害者からは、余暇や集いの場を通じての仲間づくりや、個別の定着支援、高齢化に伴う相談支援等の要望があります。雇用している企業からは、きめ細かい支援や情報提供を必要とされています。地域の障害者施設等からは、地域での働く場の開拓や、就労支援の充実が期待されています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>平成30年度の障害者雇用促進法の改正に伴い、これまで雇用対象とならなかった事業所へも拡大され、法定雇用率の引き上げと併せ障害者雇用が促進されます。また、今年度より就労支援に関わる障害福祉サービスの内容に新たに雇用定着支援が加わり、就労支援に加え、定着支援の促進が図られます。障害者就労支援機関・企業などの関係機関との連携が進み、企業等の障害者への合理的配慮が行き届いた環境の整備が進みます。</p>			
評価と課題		<p>就労希望の障害者や就労している障害者への相談支援をはじめ、障害者雇用の場の確保や障害者理解を促進するため、企業訪問などに取り組んでおり、これまで多くの障害者が就労していますが、近年、就労を希望する障害者の高齢化などにより、新規就労者数は伸び悩んでいます。平成30年度からは、精神障害者が雇用算定基準に加えられ雇用が拡大されることにより発達障害、高次脳機能障害など障害特性に応じたより専門的な支援とともに、障害福祉サービスの変更に伴う雇用定着支援に対応した支援体制の構築を図っていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>就労支援の対象となる知的障害、身体障害、精神障害のほか難病、高次脳機能障害、発達障害等障害種別は、多岐に渡っており、この状況に対応するためには、これまでの支援方法や支援体制と民間就労支援移行事業所との役割を見直し、民間事業所では対応困難な障害者やより専門性が求められる障害者への就労支援を強化するなど、公益性の高い事業に取り組みます。雇用定着支援については、就労者の障害特性や就労環境等に対応した支援体制を構築し、就労している障害者と企業へのきめ細やかな支援に取り組みます。</p>			

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00188)

事務事業名称 障害者福祉タクシー等			款 04	項 01	目 03	事業 017	整理番号 199			
現担当課名 障害者施策課		係名 障害者福祉係	連絡先電話番号 1145		昨年度整理番号 194					
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和50年度								
	平成29年度担当課名	障害者施策課						事業評価区分 一般		
	対象	移動の困難な心身障害者で、各事業の要件に該当する方	根拠法令等 (1) (2)	杉並区心身障害者福祉タクシー事業実施要綱 杉並区心身障害者自動車燃料費助成要綱						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	移動に要する費用の一部を助成することにより、歩行困難な心身障害者の外出や社会活動参加を支援する。	活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	福祉タクシー券利用者数 燃料費助成対象人数						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	月5,300円分の福祉タクシー券を支給する。 月62リットルを上限にガソリン代を1リットル当たり50円(軽油30円)助成する。 身体障害者手帳又は愛の手帳の所持者で、常時車いすを利用する方及び寝たきりの方を対象に、リフト付タクシーに利用できる補助券を支給する。	成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	発行した福祉タクシー券の利用率 支払済み乗車料金÷発行した福祉タクシー券の額面総額						
区分		単位	平成27年度 実績	平成28年度 計画	平成28年度 実績	平成29年度 計画 (目標値)	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成29年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 人	6,638	6,753	6,568	6,700	6,653	6,620	99.3	
	活動指標(2)	2 人	1,855	1,952	1,703	1,750	1,676	1,745	95.8	
	成果指標(1)	3 %	75.6	90	86.0	85	83.8	82	98.6	
	成果指標(2)	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	348,124	376,027	346,599	348,894	346,028	347,471	平成29年度 予算執行率(%) 99.2	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7 千円	308,322	337,253	309,473	306,768	306,663	306,774		
	職員数	常勤職員数	8 人	1.50	1.50	1.45	1.20	1.60	1.20	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	0.80	0.80	1.23	1.00	1.00	1.00	
	人件費	常勤職員分	11 千円	13,121	13,121	12,415	10,274	13,746	10,309	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	2,348	2,348	3,654	2,971	2,944	2,944	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	363,593	391,496	362,668	362,139	362,718	360,724		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	54,774	57,974	55,217	54,051	54,519	54,490		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	3,101	3,126	3,100	3,108	3,101	3,100	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	3,101	3,126	3,100	3,108	3,101	3,100		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	360,492	388,370	359,568	359,031	359,617	357,624		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	199
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		タクシー乗車券の支給	6,653	人	289,937
		リフト付タクシー補助券の支給	946	人	14,629
		自動車燃料費の助成	1,676	人	30,180
		その他（支給事務費）			11,282
	(2) 事業実績	平成29年度は、5,437冊の福祉タクシー券を発行し、リフト付タクシー補助券の累計利用回数は15,279回、自動車燃料費助成は平成29年度末現在、1,676人の登録があります。福祉タクシー券やリフト付タクシー補助券の受給者数は、ここ数年は横ばい傾向にあります。また自動車燃料費助成の受給者数は休止していた現況確認を再開した平成28年度から減少傾向にあります。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	福祉タクシー券の利用登録者数は、制度開始以降これまでの間増加を続けてきましたが、ここ数年は横ばい傾向となっています。リフト付タクシー補助券は、平成21年4月から車いす補助券及びストレッチャー補助券の発行方法等を変更したことに伴い、協定事業者が増加したため、利用の機会が拡大され利用回数が伸びています。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	福祉タクシー券は支給額の増額や障害の程度に応じた金額加算の要望、精神障害者にも対象を広げたいとの要望が寄せられています。また、券の有効期間と次回申請時期の関係が分かりづらいという声もいただいています。自動車燃料費助成についても、助成額を増やしてほしいとの声も寄せられています。同時に、助成に対して多くの区民の方から感謝の声も寄せられています。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	福祉タクシー券の受給者数は横ばい傾向となっていますが、平成29年度の新規申込者は600人程度となっており、そのうち約6割が65歳以上となっています。今後も高齢者人口の増加に伴い、65歳以上の福祉タクシー券利用者の割合が高くなっていくものと予想されます。障害者の社会参加の促進に伴い、外出の機会が増加するとともに、移動支援の方法も多様化しています。このような状況を踏まえ、障害者の生活実態を考慮した支援を効率的に展開できるようタクシー券を含め移動に関わる事業について見直しを検討するため、平成28年度に福祉タクシー券利用者へのアンケート調査を行いました。引き続き利用実態の把握に努め、利用目的に沿った利用がなされるように事業の適正な運営を行っていきます。			
	評価と課題	福祉タクシー券の有効期間と次回申請時期の関係が分かりづらいという声もあげられていたため、平成31年度4月利用分から券の一斉発送という形に変更し、それ以降は、券の有効期間と次回申請時期を同じにする予定です。また、福祉タクシー券及びリフト付タクシー補助券の一斉発送前に現況確認を行う等、引き続き利用実態の把握に努めていきます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	縮小		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	利用目的に沿った利用がなされるよう対象者など事業の見直しを行い、平成31年度以降予算に反映させていきます。見直しにあたっては、利用実態の把握や他自治体の同事業の分析を行う等、利用者の声も丁寧に聞きながら、検討を進めていきます。			

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00197）

事務事業名称		手話通訳相談の実施等			款	04	項	01	目	03	事業	026	整理番号	208	
現担当課名		杉並福祉事務所			係名	高井戸事務所管理係			連絡先電話番号	4312		昨年度整理番号	203		
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和47年度													
	平成29年度担当課名	杉並福祉事務所									事業評価区分	一般			
	対象	福祉相談に来所した聴覚障害者			根拠法令等	(1)		身体障害者福祉法第11条、11条の2							
						(2)		杉並区聴覚障害者及び言語機能障害者相談事業運営要綱							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	○聴覚障害者の福祉相談を手話通訳者を介すことで円滑に行う。			活動指標	指標名（1）		手話通訳相談件数							
					指標説明										
					指標名（2）										
					指標説明										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	聴覚障害者が福祉事務所窓口で相談するとき、手話通訳者が対応する。			成果指標	指標名（1）		手話通訳相談数対前年比								
					指標説明		今年度実績 ÷ 前年度実績 × 100								
					指標名（2）										
					指標説明										
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度						
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標（1）	1 件	53	55	49	20	17	20	85.0						
	活動指標（2）	2													
	成果指標（1）	3 %	139.0	104.0	92.5	40.8	34.7	117.6	85.0						
	成果指標（2）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	399	432	402	1,015	996	1,949	平成29年度 予算執行率(%)	98.1					
	（内）投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	（内）委託費	7 千円	0	0	0	791	791	1,725	手話通訳配置の見直しに伴い、手話通訳に係る事業費は減っています。一方で、障害者福祉システムの改修費など障害者手帳関係事務費は増えています。そのため、平成30年度予算から事業名を「手話通訳相談の実施等」から「障害者手帳の交付等」に変更しました。						
	職員数	常勤職員数	8 人	0.18	0.16	0.18	0.15	0.42	1.55						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.05						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50						
	人件費	常勤職員分	11 千円	1,574	1,400	1,541	1,284	3,608	13,316						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	443	221						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	1,472						
	総事業費	14 千円	1,973	1,832	1,943	2,299	5,047	16,958							
	単位当たりコスト	15 円	37,226	33,309	39,653	114,950	296,882	847,900							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計		20 千円	0	0	0	0	0	0							
差引：一般財源		21 千円	1,973	1,832	1,943	2,299	5,047	16,958							
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	208	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		手話通訳者の謝礼の支出	1	人	480	
		その他（身体障害者手帳申請書郵送料 など）				516
	(2) 事業実績	平成29年度は杉並福祉事務所荻窪事務所で17件の手話通訳の利用がありました。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	平成13年度から福祉事務所各事務所の相談窓口で月2回の手話通訳を実施していました。聴覚障害者団体からの要望があり、区役所（区政相談課）と福祉事務所の手話通訳の配置を見直し、平成29年度から福祉事務所相談窓口の手話通訳は、荻窪事務所のみ月1回の実施に変更しました。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	聴覚障害者団体から、様々な手続きができる区役所（区政相談課）での手話通訳の配置を増やしてほしいとの要望があり、平成29年度から区役所（区政相談課）と福祉事務所の手話通訳の配置を見直しました。				
	今後（3～5年）の予測と方向性	荻窪事務所が平成30年度にウェルファーム杉並内に移転したことにより、ウェルファーム杉並の他機関利用者の手話通訳相談も見込まれます。				
	評価と課題	平成29年度から区役所（区政相談課）と福祉事務所の手話通訳配置の見直しに伴って、高円寺事務所と高井戸事務所の手話通訳の配置は無くなりました。高円寺事務所と高井戸事務所での聴覚障害者の相談には、筆談により対応しました。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
		手話通訳配置の見直しに伴い、手話通訳に係る事業費は減っています。一方、障害者福祉システムのマイナンバーに絡む改修費があり、平成30年度の事業費総体は増えました。また、平成30年度予算から事業名を「手話通訳相談の実施等」から「障害者手帳の交付等」に変更しています。				

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00198)

事務事業名称 障害者福祉会館事業運営			款 04	項 01	目 03	事業 027	整理番号 209			
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2273		昨年度整理番号 204					
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和57年度								
	平成29年度担当課名	障害者生活支援課					事業評価区分 一般			
	対象	障害者福祉会館運営協議会及び事業の利用者		根拠法令等 (1) (2)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害者福祉会館の部屋の貸し出し等、利用頻度を高める。 障害者福祉会館利用者の健康増進、相互交流を図る。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	会議室の利用件数 会議室の利用延べ人数					
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	障害者福祉会館の維持管理及び事業運営等の業務を杉並障害者福祉会館運営協議会に委託する。 福祉会館まつり等行事、各種教室事業等自主事業への補助を行う。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	会議室の開館日に対する利用率 利用回数÷年間利用可能部屋数						
区分		単位	平成27年度 実績	平成28年度 計画	平成28年度 実績	平成29年度 計画 (目標値)	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成29年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 件	3,707	4,000	3,682	4,000	4,079	4,000	102.0	
	活動指標(2)	2 人	48,318	56,000	47,277	56,000	51,820	56,000	92.5	
	成果指標(1)	3 %	51.3	60	51.0	60	56.3	60	93.8	
	成果指標(2)	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	64,836	71,220	68,972	70,744	68,912	70,814	平成29年度 予算執行率(%) 97.4	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7 千円	60,737	65,406	63,162	66,145	64,314	66,715		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.47	0.47	0.46	0.46	0.43	0.43	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11 千円	4,111	4,111	3,939	3,939	3,694	3,694	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	68,947	75,331	72,911	74,683	72,606	74,508		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	18,599	18,833	19,802	18,671	17,800	18,627		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	68,947	75,331	72,911	74,683	72,606	74,508		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	209
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		施設運営管理委託	1	館	39,016
		区の補助事業による福祉会館まつり等各種催物助成	1	館	3,000
		運営協議会運営補助	1	館	1,095
		会館運営事務費	1	館	519
		その他(送迎用バス運行業務委託)			25,282
(2) 事業実績	<p>障害者福祉会館運営協議会へ施設の運営管理を委託しています。主な業務としては、障害者による貸室の受付業務や館内清掃業務があります。また、福祉会館まつりやレクリエーション等の協議会独自事業に助成を行っています。各種の催し物には毎年安定的に参加があり、特に福祉会館まつりには1,300名以上の参加がありました。</p> <p>会館利用者である障害者団体の構成員の高齢化に伴い、例年会館利用者数の減少がみられましたが、平成29年度は397名の増加となりました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>障害者福祉会館運営協議会は従来から区の委託事業とは別に、自主事業として福祉会館まつりや各種催物を実施しています。平成17年度まで直営で実施していた「ひろば事業」と「相談支援事業」については、平成18年度から障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業として同運営協議会に委託して行ってきました。しかし平成25年度から相談体制の再構築等により「ひろば事業」は区の直営に戻り、「相談支援事業」は委託を終了しました。また、利用者送迎用バス運行業務委託については運営協議会への委託費での契約から、平成28年1月より区との長期継続契約に変更となっています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>各種講座や教室等に多くの方が参加しやすいよう、内容の充実が求められています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>障害者福祉会館で実施している講座やまつりなどを通して、障害者やその家族と区民との交流が促進されています。また、障害者のニーズに即した講座等が開催され、多くの障害者やその家族、支援者等の利用が増えています。</p>			
評価と課題	<p>運営協議会は、区の受託事業として手話講習会や要約筆記講習会などを実施し、手話通訳者等の養成に貢献しています。また、パソコン講習会等、障害者の自立や社会参加を促進する事業も行い、区の障害者支援事業において重要な役割を担っています。</p> <p>平成29年度の会館利用者数は、増加となりましたが、会館利用登録障害者団体構成員の高齢化に伴い、今後、会館利用者数は、減少することが見込まれます。</p> <p>そのため、運営協議会と連携して、障害当事者や支援者が活発に活動するための拠点として、より一層障害者支援の推進と会館運営の充実に努めます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>運営協議会と協議を行い、各種講習会・催し物等の内容の充実や貸室利用率の向上を図っていきます。</p>			

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00199)

事務事業名称		視覚障害者会館事業運営			款	04	項	01	目	03	事業	028	整理番号	210	
現担当課名		障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	205			
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和57年度													
	平成29年度担当課名	障害者生活支援課			事業評価区分	一般									
	対象	はり、きゅう、マッサージの免許を有する視覚障害者で、 自営や雇用が困難な人 視覚障害者及び家族、ボランティア団体			根拠法令等	(1)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例								
						(2)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	三療(はり、きゅう、マッサージ)の免許を有する視覚障害者で、 自営や雇用されることが困難な人に施術の場を提供し、 開業若しくは雇用されるよう自立の支援を行う。			活動指標	三療(はり、きゅう、マッサージ)の利用者数									
				指標名(1)											
				指標説明											
				指標名(2)											
				指標説明											
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	視覚障害者会館の維持管理及び運営等の業務をNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会に委託する。 三療(はり、きゅう、マッサージ)の施術の場の提供による視覚障害者への就労支援を行う。			成果指標	利用率										
				指標名(1)											
				指標説明	三療施術実施時間÷年間三療施術実施可能時間										
				指標名(2)											
				指標説明											
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 人	1,470	1,800	1,427	1,700	1,279	1,700	75.2						
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3 %	26.4	30	26.1	30	23.4	30	78.0						
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	13,263	16,530	13,666	16,791	14,023	15,848	平成29年度 予算執行率(%)	83.5					
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	13,263	16,530	13,666	16,791	14,023	15,848	執行率90%未満の理由 パート職員の人件費(報酬及び社会保険料)の残です。						
	職員数	常勤職員数	8 人	0.24	0.24	0.23	0.23	0.22	0.21						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	2,099	2,099	1,969	1,969	1,890	1,804						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費	14 千円	15,362	18,629	15,635	18,760	15,913	17,652							
	単位当たりコスト	15 円	10,450	10,349	10,957	11,035	12,442	10,384							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	4,598	5,717	4,918	6,112	5,112	5,941						
		都からの補助金等	18 千円	2,299	2,859	2,459	3,062	2,556	2,970						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計		20 千円	6,897	8,576	7,377	9,174	7,668	8,911							
差引:一般財源		21 千円	8,465	10,053	8,258	9,586	8,245	8,741							
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	210
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		管理運営委託	1	所	14,023
	(2) 事業実績	<p>視覚障害者会館は、NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会に運営を委託し、盲人ホーム事業としての視覚障害者の自立援助のための点字講習会、料理講習会、三療施術講習会、文化講座等の開催及び三療施術を実施しています。</p> <p>民間によるマッサージ等の施術所が増加したことや登録施術者の高齢化により、視覚障害者会館の三療施術利用者が減少しています。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>運営委託管理者であるNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会の前身は、杉並区視覚障害者福祉協会です。創立以来80年の伝統ある任意団体です。当会館の前身の盲人会館を含めて運営に深くかかわってきました。平成18年度から平成26年度まで、指定管理者として視覚障害者会館の管理運営等を行なってきましたが、平成27年度からは運営形態を業務委託に変更しました。区としては、建物・設備等の維持管理を担っています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>会館が実施している各種講座、三療施術講習会は利用者に概ね好評です。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>様々な制度改正等が行われる中、視覚障害者に対するコミュニケーション支援、社会参加と就労の場の確保が、ますます重要になっていくものと予想されます。</p>			
評価と課題		<p>視覚障害者会館は、視覚障害者の自立更生を図り、交流の場を提供する数少ない支援施設です。NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会が、障害特性への理解や配慮など専門的な対応で、契約に基づく業務を着実にこなしています。</p> <p>会館の利用者の高齢化や民間マッサージ店の拡大で利用者実績は、伸び悩んでいます。施設の設置目的を踏まえて、視覚障害者に対する社会参加事業やコミュニケーション事業の実施方法等を見直すなど、利用者増に向けて法人と連携し検討を行います。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>はり・灸・マッサージの資格をもった視覚障害者に、施術の場を提供するとともに、各種講座等を実施することで、視覚障害者の社会参加等の支援を推進します。また、多くの視覚障害者に利用してもらえるよう委託法人と連携して、各種講座等の内容の充実等を図っていきます。</p>			

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00200）

事務事業名称		障害者交流館運営			款	04	項	01	目	03	事業	029	整理番号	211	
現担当課名		障害者生活支援課			係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	206		
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成7年度													
	平成29年度担当課名	障害者生活支援課			事業評価区分	一般									
	対象	和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の利用者及び受託者			根拠法令等	(1)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例							
						(2)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	障害者、障害者団体及び障害者福祉ボランティア等に施設を貸出し、地域における自主的な活動を通じて、自立と社会参加を促す。			活動指標	指標名(1)		利用回数							
					指標説明		利用人員								
					指標名(2)		利用率								
					指標説明		利用時間数÷年間利用可能時間数								
					指標名(2)										
					指標説明										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の維持管理、運営等を杉並区障害者団体連合会に委託する。													
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	回	3,945	4,000	4,044	4,000	3,814	4,000	95.4					
	活動指標(2)	2	人	55,265	56,000	54,667	56,000	52,756	56,000	94.2					
	成果指標(1)	3	%	51.0	65	52.8	60	49.5	60	82.5					
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	32,124	40,804	35,137	39,958	34,060	37,976	平成29年度予算執行率(%)	85.2				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	32,124	40,714	35,048	39,958	34,060	37,976	執行率90%未満の理由					
	職員数	常勤職員数	8	人	0.24	0.24	0.23	0.23	0.22	0.21	事務局職員及び清掃指導員の欠員に伴う人件費(報酬及び社会保険料)の残です。				
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	2,099	2,099	1,969	1,969	1,890	1,804					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	34,223	42,903	37,106	41,927	35,950	39,780						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	8,675	10,726	9,176	10,482	9,426	9,945						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引：一般財源(14-20)		21	千円	34,223	42,903	37,106	41,927	35,950	39,780						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	211	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		管理運営委託（和田）		1	所	15,134
		管理運営委託（高円寺）		1	所	18,926
		その他（ ）				
	(2) 事業実績	<p>和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の事業運営は、障害者団体連合会に委託しています。障害者団体連合会は、団体自主事業として、わいわい和田まつりや高円寺交流館まつりを開催するとともに、区主催の障害者を対象とする催し物等に参加するなど、活発な活動をしています。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>和田障害者交流館は平成7年度の開設から杉並区障害者雇用支援事業団に、高円寺障害者交流館は平成14年3月の開設から杉並区障害者団体連合会に運営を委託していました。平成18年度からは杉並区障害者団体連合会を指定管理者として、和田障害者交流館と合わせて管理運営等を行ってまいりましたが、平成24年度から運営形態を業務委託に変更しました。区としては、建物・設備等の維持管理を担っています。施設利用は、高円寺交流館に限り、障害者団体等以外に目的外使用として一般区民にも開放しています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>特段意見・要望はありません。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>障害のある方やボランティア活動をしている方々の活動の場及び交流の場としての役割を推進しています。今後も障害者や支援者の活動場として、また、地域の方々との交流の場としての役割を担っていきます。</p>				
評価と課題	<p>和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館は、多くの障害者に交流の場を提供しています。高円寺交流館においては、地域に支えられた交流館まつりをはじめ、会議室を広く一般に開放し、地域に密着した障害者施設として運営しています。会議室の利用率低下については、頻繁に会議室を利用していた団体が活動を停止したことや、利用する団体構成員の高齢化等により団体活動への参加者が減少していることによるものと思われます。今後、和田交流館と併設する和田区民集会所の利用状況等を踏まえ、会議室の一般開放を含め利用方法等を検討します。</p>					
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>障害者交流館は、今後も障害者や支援者の活動及び地域との交流の場としての役割を担っていきます。交流館の利用率向上のため、事業内容の見直しなど委託事業者と連携して取り組み、運営実態等を踏まえて委託事業者と協議し、効率的で効果的な運営がなされるように努めます。</p>				

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00201)

事務事業名称			すぎのき生活園事業運営				款	04	項	01	目	03	事業	030	整理番号	212	
現担当課名			障害者生活支援課				係名	すぎのき生活園				連絡先電話番号	3399-8953	昨年度整理番号	207		
上位施策No・施策名											16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始		昭和55年度														
	平成29年度担当課名		障害者生活支援課				事業評価区分 一般										
	対象		すぎのき生活園利用者 (利用者=重度知的障害者)				根拠法令等 (1) (2)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区立すぎのき生活園運営要綱								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		障害程度の重い知的障害者に対し、日常生活の援助や各種活動の提供・支援を行い、日々の生活の充実と社会生活能力の向上を図る。				活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)		日常生活支援活動における利用者数 日常生活支援活動における延べ利用者数								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		日常生活動作(更衣・排泄・食事・移動等)への支援や介助を行う。 回収、リサイクル、軽作業、ウォーキング、畑作業、陶芸等の活動を行う。 機能訓練、自立能力向上への支援を行う。 送迎バス・給食を提供する。 健康管理、各種検診の実施、栄養指導を行う。 各種行事の実施と地域との交流を進める。				成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明		個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合 成果のあった利用者÷利用者数 出席率 延べ通所人数÷(登録者数×開所日)								
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標(1)		1	人	82	84	84	84	84	82	100.0						
	活動指標(2)		2	人	17,306	18,370	17,350	18,446	17,763	18,000	96.3						
	成果指標(1)		3	%	98.0	100	98.0	100	98.8	100	98.8						
	成果指標(2)		4	%	83.8	90	85.0	90	85.6	90	95.1						
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	102,623	106,928	104,812	106,314	103,198	118,095	平成29年度予算執行率(%)	97.1					
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費		7	千円	86,090	88,142	87,421	88,980	88,233	109,231							
	職員数	常勤職員数		8	人	46.00	45.00	44.24	44.00	43.57	44.00						
		再任用職員数		9	人	1.07	1.05	1.07	1.05	1.08	2.00						
		非常勤職員数		10	人	1.00	1.00	2.00	2.00	2.00	1.00						
	人件費	常勤職員分		11	千円	402,362	393,615	378,783	376,728	374,310	378,004						
		再任用職員分		12	千円	4,429	4,346	4,697	4,610	4,782	8,856						
		非常勤職員分		13	千円	2,935	2,935	5,942	5,942	5,888	2,944						
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	512,349	507,824	494,234	493,594	488,178	507,899							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15	円	6,248,159	6,045,524	5,883,738	5,876,119	5,811,643	6,193,890							
	財源	受益者負担分		16	千円	201,313	199,874	203,933	212,420	209,479	212,420						
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	201,313	199,874	203,933	212,420	209,479	212,420								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	311,036	307,950	290,301	281,174	278,699	295,479								
受益者負担比率(16÷14)		22	%	39.3	39.4	41.3	43.0	42.9	41.8								

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	212
平成29年度の事業実施状況	内容		規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	送迎用バス運行業務委託		244	日
給食調理業務委託		243	日	27,871	
日常生活活動		84	人	6,996	
利用者健康管理		84	人	3,246	
その他（宿泊行事、杉実祭、社会見学 ほか）				4,899	
(2) 事業実績	<p>4月から特別支援学校卒業生1名を加えた、利用者84名に対し個別支援計画に基づき、更衣・排せつ・食事・歯磨き・移動などの支援や介助、健康活動や機能維持のための支援、利用者の特性や興味などに合わせた活動の提供、送迎バスや給食の提供、各種の検診や健康管理、栄養指導や必要に応じた相談支援を行ってきました。また、社会見学や杉実祭の実施、地域の行事に参加するなど地域の皆様と交流を深める取組を実施してきました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>東京都杉並児童学園を前身として、昭和55年に区へ移管され、平成21年に障害者自立支援法に基づく生活介護施設、平成25年度には障害者総合支援法に基づく生活介護施設になりました。障害の多様化、重度化が進む中で、行政、民間ともに各種サービスが拡充し、グループホームから通う利用者も増加しています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>老朽化に伴う施設改修、送迎バスの拡充、宿泊事業の継続、相談支援の充実、福祉救済所の円滑な運営について、当園保護者会から要望が出ています。すべての利用者に対してサービス等利用計画を作成することになり、特定相談事業所との連携強化が求められています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>特別支援学校の児童・生徒の施設利用希望者が増えており、障害の重複化・重度化傾向や他害など対応が難しい卒業生も増えていきます。すぎのき生活園の利用者は3分の1が重複障害であり、高齢化により機能低下している利用者や民間施設で対応が難しい利用者も増えていきます。また支援が必要な家族も増え支援業務の範囲が広がっています。障害の重度化・重複化が進む中、利用者が安全に過ごし適切な支援を行うためには集団規模の縮小と、障害に応じた設備を整える必要があります。集団規模の適正化を図るには、区立施設利用者の一定数を民間施設に移行する必要があります。そのため生活園と同等な設備が整った重度知的障害者通所施設を整備することと併せて、重度知的障害者の支援ノウハウに関する民間施設への支援力を高める取組に努めます。</p>			
	評価と課題	<p>すぎのき生活園では多様な活動やプログラムが提供され、地域に根ざした施設づくりや意見・苦情に取り組む体制がある等の評価を得ています。高齢化や障害の重度化、他害等1:1以上の対応が必要な利用者が増える中、安全で適切な支援を実施するためには、現在の集団規模を見直し適正な規模へ縮小を図るとともに、支援力を高める人材育成が急務となっています。また緊急時・災害時に備え、自宅に近い施設への移行を推進するには、現在の生活園と同等な設備を有した民間施設の整備が欠かせません。民間施設は重度知的障害者の支援ノウハウを持っていない施設が多く、今後は支援技術の提供など民間施設へ支援体制の構築が求められています。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>杉並区行財政改革推進計画には「区立障害者通所施設の役割の見直しと民間施設への支援」が計画化され、すぎのき生活園の今後のあり方についての検討が課題となっています。利用者の高齢化・重度化に応じた施設の改修と集団規模の適正化、職員の人材育成、区立施設利用者の民間施設への移行を一定程度進めること、民間施設に対する支援内容と支援体制の構築について検討します。施設改修については、施設の性質上運営しながらの改修は困難であることから、平成31年～平成33年施設再編整備計画への計画化が欠かせません。また、区立施設利用者の民間施設への移行を一定程度進めるためには、地域割りなどの区の考え方を踏まえ、利用者や家族に働きかけていきます。民間施設への支援については、重度知的障害者のノウハウをもつ施設が少ない現状があるため、支援力の向上にむけた支援策を検討します。</p>			

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00202)

事務事業名称			こすもす生活園事業運営				款	04	項	01	目	03	事業	031	整理番号	213	
現担当課名			障害者生活支援課				係名			こすもす生活園			連絡先電話番号	3317-9312		昨年度整理番号	208
上位施策No・施策名											16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分		既定事業		
事務事業の概要	事業開始		平成 5年度														
	平成29年度担当課名		障害者生活支援課				事業評価区分		一般								
	対象		こすもす生活園の利用者 (利用者) = 重度身体障害者				根拠法令等		(1) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (2) 杉並区身体障害者通所施設条例、同施行規則								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		利用者が自分の持っている能力を十分発揮し、地域社会において生き生きとした生活ができるよう支援する。家族を含めた利用者の24時間の生活を見据え健康管理、環境整備等、関係機関とのコーディネートを行う。				活動指標		登録者数 = 生活介護登録者数 + 自立訓練登録者数 延べ利用者数								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		利用者が自分の持っている能力を発揮し、地域社会で生き生きとした生活ができるよう、個々のニーズに基づき自立と社会参加を支援する。個別支援計画を策定し、介護・支援、給食・送迎、機能訓練、入浴、社会適応支援、スポーツ・レクリエーション、創作的・生産的活動、健康管理、医療的ケア、相談・支援、地域交流・広報活動などを行う。				成果指標		個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合 成果のあった利用者÷利用者数 出席率 延べ通所人数÷(登録者数×開所日)								
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標(1)		1	人	26	26	26	28	28	107.7							
	活動指標(2)		2	人	4,956	5,832	4,953	5,856	5,028	5,832	85.9						
	成果指標(1)		3	%	96.0	100	96.0	100	96.0	100	96.0						
	成果指標(2)		4	%	86.0	85	84.0	85	85.0	85	100.0						
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	53,813	57,011	55,941	55,106	54,443	55,439	平成29年度予算執行率(%)	98.8					
	(内) 投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内) 委託費		7	千円	50,517	50,967	50,508	51,261	50,864	51,510							
	職員数	常勤職員数		8	人	16.74	18.00	18.14	18.00	16.67	17.00						
		再任用職員数		9	人	2.05	1.05	1.00	2.00	2.12	1.00						
		非常勤職員数		10	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	3.00						
	人件費	常勤職員分		11	千円	146,425	157,446	155,315	154,116	143,212	146,047						
		再任用職員分		12	千円	8,485	4,346	4,390	8,780	9,387	4,428						
		非常勤職員分		13	千円	5,870	5,870	5,942	5,942	5,888	8,832						
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	214,593	224,673	221,588	223,944	212,930	214,746							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15	円	8,253,577	8,641,269	8,522,615	8,613,231	7,604,643	7,669,500							
	財源	受益者負担分		16	千円	70,361	70,361	71,003	70,361	68,553	70,473						
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	70,361	70,361	71,003	70,361	68,553	70,473								
差引：一般財源(14-20)		21	千円	144,232	154,312	150,585	153,583	144,377	144,273								
受益者負担比率(16÷14)		22	%	32.8	31.3	32.0	31.4	32.2	32.8								

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	213
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		送迎用バス運行業務委託	244	日	37,452
		給食調理業務委託	244	日	13,627
		利用者健康管理	28	人	985
		医療的ケア	4	人	1,329
		その他(日常生活活動・行事特別活動ほか)			1,050
(2) 事業実績	<p>送迎バスの利用者は26名、安定した通所を保障できました。給食の喫食者は24名、摂食嚥下機能の維持向上と健康維持を行いました。内科4回小児神経科2回皮膚科5回整形外科5回口腔外科5回心療内科2回の健康相談を実施し健康管理に努めました。医療的ケアは、指導医の助言のもと看護師と福祉職員でたんの吸引及び経管栄養の実施を行いました。また、創作的活動やスポーツレクリエーション活動、外出行事、地域交流、広報活動などの事業を行い、利用者の自立と社会参加、地域に開かれた施設運営を進めました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成5年、重度の身体障害者を対象とする法外の通所施設としてスタートし、支援費制度が導入され、それに基づき、平成16年にデイサービス事業を行う法内の施設へと移行しました。平成18年障害者自立支援法施行後は、生活介護事業と自立訓練事業を実施し、平成25年4月からは、障害者総合支援法に基づいた運営を実施しています。</p> <p>平成9年に区立なのはな生活園、平成21年にはマイルドハート高円寺、そして平成29年に永福南社会福祉ガーデンが開所し、区内の重度身体障害者の日中活動の場が確保されました。また、平成18年に永福学園(肢体不自由児特別支援学校)が開校し、卒業後の在宅者を出さないという考えのもと卒業生の進路先として新規施設の開設が計画されています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>利用者の加齢による機能低下や健康状態に即したサービスの充実、医療的ケアなど重度の障害を有する方の日中活動の場としての役割が期待されています。</p> <p>また、家族の高齢化に伴う生活環境の変化に対応したきめこまやかな情報提供や、将来を見据えた支援が求められています。</p> <p>震災時等非常時の速やかな連絡体制と共に福祉救済所としての整備を期待する声も寄せられています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>平成31年11月に上井草地域に通所施設が整備されることに伴い、居住地域に近い通所施設の利用が進み、現在課題となっている送迎時の長時間乗車の改善が見込まれます。しかし、その後の特別支援学校からの卒業生を受け入れるための通所先の確保、及び医療的ケアを必要とする重度障害の生徒の受け入れ先の確保が求められており、新たな施設の整備や医療機関との連携について検討してまいります。</p> <p>また、高齢利用者の介護保険サービスへの移行がスムーズに進められています。</p>			
評価と課題	<p>利用者及び家族の高齢化に伴い、機能低下や家庭環境の調整などの課題の解消に向けて、個々の健康状態や身体状況を丁寧に把握し、速やかな対応を行っています。精神疾患を併せ持つ方や難病、中途障害など多様な利用者も受け入れており、新たなニーズに対応できる支援力が求められています。</p> <p>利用者一人ひとりの健康状態や課題について理解を深め、また適切で専門的な支援を行うため、様々な専門職が効果的に関わり、チームでのアプローチを実施してまいります。</p> <p>グループホームや相談事業所などと連携を取り、利用者の将来を見据え、日常生活の中で必要な福祉サービスの活用を進めていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>障害の重度化及び重複化による機能低下に伴う介助量の増加や、きめ細やかな支援が必要になってきています。また、医療的ケアをはじめ、精神疾患や高次脳機能障害、難病など多様な障害特性に対応することが求められていることから、職員の知識と支援技術の向上を図ります。併せて事業の見直しを行うことで、効率的な運営を進めていきます。</p>				

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00203)

事務事業名称			なのはな生活園事業運営			款	04	項	01	目	03	事業	032	整理番号	214
現担当課名			障害者生活支援課			係名			なのはな生活園			連絡先電話番号	3335-0415	昨年度整理番号	209
上位施策No・施策名											16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成 9年度													
	平成29年度担当課名	障害者生活支援課									事業評価区分		一般		
	対象	なのはな生活園の利用者 (利用者=重度身体障害者)			根拠法令等		(1)		(2)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律		杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則		
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	日常的なさまざまな活動や経験を通して、園の利用者である重度の身体障害者が、地域社会の中で生き生きとした生活を送ることができるようにする。 園の利用者の健康を維持するため、健康管理と維持の支援や健康状態のチェック、医療的ケアを実施する。			活動指標		指標名(1)		指標説明		施設登録人数(生活介護登録人数+自立訓練登録人数)		延べ通所者人数		
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	利用者が自分の持っている能力を十分発揮したり新しい自分を発見できるように支援する。また、地域社会において生き生きとした生活が送れるよう、個々のニーズに基づき自立と社会参加の促進を図る。 個別支援計画の策定と実施、機能訓練、医療的ケア、入浴サービス、バス送迎、給食提供などを行う。また、支援の充実のために本人、家族、関係機関との情報共有を行う。			成果指標		指標名(1)		指標説明		個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合 成果のあった利用者÷利用者数		出席率		
												指標名(2)		指標説明	
														延べ通所者人数÷(登録者数×開所日)	
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	人	36	34	34	33	33	33	100.0					
	活動指標(2)	2	人	6,354	7,147	6,067	6,976	5,914	6,972	84.8					
	成果指標(1)	3	%	97.0	100	100.0	100	100.0	100	100.0					
	成果指標(2)	4	%	86.7	100	84.8	100	86.5	90	86.5					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	61,891	65,600	65,141	69,571	67,544	67,558	平成29年度予算執行率(%)	97.1				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	57,863	61,438	61,113	63,309	62,800	63,988						
	職員数	常勤職員数	8	人	23.45	21.00	22.11	21.88	22.01	22.30					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.50	0.53	0.53	0.52	0.00					
		非常勤職員数	10	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.30	2.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	205,117	183,687	189,306	187,337	189,088	191,579					
		再任用職員分	12	千円	0	2,070	2,327	2,327	2,303	0					
		非常勤職員分	13	千円	5,870	5,870	5,942	5,942	6,771	5,888					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	272,878	257,227	262,716	265,177	265,706	265,025						
	単位当たりコスト(14÷6÷1)	15	円	7,579,944	7,565,500	7,726,941	8,035,667	8,051,697	8,031,061						
	財源	受益者負担分	16	千円	95,151	93,353	90,713	97,113	87,369	97,113					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	95,151	93,353	90,713	97,113	87,369	97,113						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	177,727	163,874	172,003	168,064	178,337	167,912						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	34.9	36.3	34.5	36.6	32.9	36.6							

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	214
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		送迎用バス運行業務委託	244	日	48,468
		給食調理業務委託	244	日	14,332
		利用者健康管理	33	人	1,973
		医療的ケア	8	人	1,445
		その他(日常生活活動・行事特別活動ほか)			1,326
(2) 事業実績	<p>利用者のニーズに応じた個別支援計画を作成し、一人ひとりに合った支援を行いました。また、介助方法や手順など職員の誰もが行えるように支援マニュアルを整備・共有しました。送迎バス運行時の緊急対応マニュアルや利用者への配慮事項などを送迎バス委託業者と確認し、安全運行の向上を図りました。また、利用者の加齢や多様化する医療的ケアに対応するため、指導医や専門医との連携を図りました。利用者の体調不良や都合などにより、出席率が目標に達しませんでした。利用者の状況等を踏まえて平成30年度の出席率の目標値を修正しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成9年なのはな生活園が法外の通所施設として開所し、平成16年支援費制度に伴い、デイサービス事業を行う法内の施設へと移行しました。平成18年障害者自立支援法施行後は、生活介護事業と自立訓練事業を実施し、平成25年4月からは障害者総合支援法に基づいた運営を実施しています。平成18年永福学園(肢体不自由教育部門)が開校し、在宅者を出さないという考えのもと医療的ケアを含む多様な卒業生の受け入れを行い、身体障害者日中活動の場を確保しています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>利用者の加齢による機能低下や健康状態の変化に即した支援の充実が期待されています。多様化している医療的ケアを含む、重度身体障害者の地域生活及び日中活動の場としての役割が期待されています。職場体験実習(中学生・高校生)や近隣の保育園との交流事業など、地域社会との積極的なかかわりのある社会参加が期待されています。利用者や家族の高齢化に伴い、今後の生活を見据えた対応と、きめこまやかな情報提供を希望する声が寄せられています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>平成30年に永福南社会福祉ガーデンが開設、平成31年秋に(仮)シャローム上井草が開設予定で、これによって居住地に近い通所施設の利用が進み、送迎バスの乗車時間の短縮により利用者の体への負担が軽減されます。今後、特別支援学校から多様な医療的ケアを必要とする重度障害者の卒業生が見込まれます。その対応のための看護職の確保と育成、更に医療機関との連携システム作りなどが必要となります。また、現在の通所施設では対応が難しい医療的ケアの方のための、医療機関のバックアップが十分にある施設の整備も必要となります。</p>			
評価と課題	<p>特別支援学校の卒業生や在宅者など、重度身体障害者の日中活動の場を確保するために、定員を超えて暫定的な受け入れを行ってきました。今後の施設整備に合わせて、現在登録している利用者の他施設への移行等を進め、暫定受け入れの解消を図ります。また、移行先は身体への負担軽減や緊急時に対応できるよう、居住地に近い施設の利用へと誘導していきます。現在の永福学園等の低学年の在学状況から、今後さらに、重度の方や多様な医療的ケアの必要な方の利用の増加が見込まれます。現在実施している医療的ケアを安全に継続的に実施するだけでなく、施設での安全な実施について更なる検証をしていきます。公立施設として重度の身体障害者支援について、民間のスキルアップに貢献する役割があります。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>これまで行ってきた事業を継続しつつ、家族も視野に入れた個別支援の質の向上に努めます。医療的ケアや高次脳機能障害の利用者が増えたことで、看護師や福祉職の専門的な技術や知識が求められています。必要な人員を確保し、積極的に研修を受講したり職員間で情報共有を着実にやり、安心して安全な施設運営に取り組みます。今後の施設整備計画に合わせて、本人や家族の意向を踏まえながら、自宅から近い施設への移行がスムーズに行えるように丁寧な説明や聞き取りに努めます。</p>			

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00204）

事務事業名称			障害者の入所・通所施設の運営助成				款	04	項	01	目	03	事業	033	整理番号	215	
現担当課名			障害者生活支援課				係名	管理係				連絡先電話番号	2273	昨年度整理番号	210		
上位施策No・施策名											16	障害者の社会参加と就労機会の充実			予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成21年度															
	平成29年度担当課名	障害者生活支援課										事業評価区分	一般				
	対象	民営化した障害者通所施設等を運営する法人				根拠法令等	(1)		(2)		杉並区重度知的障害者通所施設整備・運営に関する補助要綱 障害者支援施設マイルドハート高円寺「なでしこ」運営費補助要綱						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	民営化した重度身体障害者通所施設や新たに民間が開設した重度知的障害者通所施設が、区立生活園とともに重度障害者の受け入れに応えていく。運営経費の一部を補助することにより、施設が安定して運営できるよう図る。				活動指標	指標名（1）		指標説明		利用者登録人数（年度当初）						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	重度身体障害者施設において、特に経費を要する医療的ケアにかかる経費、及び送迎バス運行の経費を補助する。重度知的障害者施設において、施設運営にかかる施設借上げ経費や非常勤職員人件費等の運営経費の一部を補助する。障害者通所施設において、施設利用者の通所のための送迎サービスに要する経費の一部を補助する。				指標名（2）	指標説明		年間延べ利用者数								
					成果指標	指標名（1）		指標説明		定員に対する年度末の登録者数の割合							
					指標名（2）	指標説明		年度未登録者数÷定員(5施設の計)									
					指標名（2）	指標説明		1日当たり平均利用者数									
					指標名（2）	指標説明		年間延べ利用者数÷年間開園（所）日数（5施設の計）									
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度								
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標（1）	1	人	133	138	135	138	142	138	102.9							
	活動指標（2）	2	人	27,702	30,000	28,873	31,000	30,771	32,000	99.3							
	成果指標（1）	3	%	92.3	100	94.2	100	99.1	100	99.1							
	成果指標（2）	4	人	111	115	116	125	123	125	98.4							
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	108,211	123,434	111,135	141,645	124,604	138,338	平成29年度予算執行率(%)	88.0						
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	（内）委託費	7	千円	0	0	0	0	0	0	執行率90%未満の理由マイルドハート高円寺「なでしこ」の施設利用者の増加に伴い、利用者送迎バスを3台分の補助を見込んでいたが、送迎バス利用者が増加しなかったことにより2台分の補助となったため。							
	職員数	常勤職員数	8	人	0.12	0.12	0.23	0.23	0.22	0.21							
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.10	0.10							
	人件費	常勤職員分	11	千円	1,050	1,050	1,969	1,969	1,890	1,804							
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0							
		非常勤職員分	13	千円	587	587	594	594	294	294							
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	109,848	125,071	113,698	144,208	126,788	140,436								
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	825,925	906,312	842,207	1,044,986	892,873	1,017,652								
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0								
差引：一般財源(14-20)		21	千円	109,848	125,071	113,698	144,208	126,788	140,436								
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 215

平成29年度の事業実施状況	内 容		規模	単位	事業費（千円）	
	(1) 主な取組	重度身体障害者支援施設運営助成		1	所	59,324
		重度知的障害者通所施設運営助成		3	所	52,774
		障害者通所施設の送迎サービス助成（あけぼの作業所分）		1	所	12,506
		その他（ ）				
(2) 事業実績	<p>重度身体障害者施設については、運営経費のうち、医療的ケアにかかる非常勤職員人件費（指導医、看護師等）及び送迎バス運行にかかる経費の一部を補助しました。重度知的障害者施設については、施設運営費のうち、非常勤職員人件費、施設賃借料、送迎にかかる経費等の一部を補助しました。障害者通所施設については、施設利用者の通所のための送迎サービスに要する経費の一部を補助しました。一部の施設では、地域の需要に合わせた受け入れを行っており、定員を満たないところがあるため、目標値に達していません。</p>					

事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>重度障害者通所施設の需要に応えるため、民間事業者による施設整備を図るとともに民間施設であっても公立施設と同等のサービスを提供し、安定的な運営を確保できるよう、運営費の一部助成を行ってきました。</p> <p>平成24年度から送迎加算が報酬化されたため、送迎サービスに要する経費の補助については、送迎加算額を差し引いた額で補助をしています。</p>
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>重度知的障害者通所施設と重度身体障害者通所施設の開設により、多くの利用者が充実した日中活動に参加できたことから一定の評価を得られました。</p> <p>高齢化に伴い障害の重度化や重複化が見込まれる利用者に合わせてサービスの質を確保・向上するために補助金の拡充を求める声がありました。</p>
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>障害者施設では、施設利用者の高齢化による身体的機能の低下に伴う、重複障害者の割合増加や医療の進歩に伴い、医療的ケアを必要とする利用者の増加が見込まれます。</p> <p>また、特別支援学校の卒業生の日中の活動場所を確保するため、新たな施設の整備の必要性が高まっています。</p> <p>障害者施設利用者の増加や重度化・重複化に伴ったサービス等の充実を図る一方で、適正な補助金交付に努めます。</p>
	評価と課題	<p>運営経費の一部を補助することにより、安定的な施設運営を図っています。</p> <p>障害者施設では、施設利用者の高齢化等に伴い、重度重複障害者や医療的ケアを必要とする利用者の増加が見込まれることから、施設利用者の障害特性に応じたサービスを提供するため、国や東京都の動向を踏まえて運営費の補助を行います。</p>

翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	<p>I 事業コストの方向性 現状維持</p> <p>II 事業の改善の方向性 手段・方法の見直し（改善）</p>
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>障害者施設の実情を踏まえて、より適正なサービスの提供を図るため引き続き運営費の一部補助を行います。</p> <p>補助金の交付に際しては、実績報告書等により事業内容の把握及び運営状況の精査を行い、適切な補助金執行に努めます。</p>

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00205)

事務事業名称		障害者の就労支援事業				款	04	項	01	目	03	事業	034	整理番号	216		
現担当課名		障害者生活支援課		係名		管理係		連絡先電話番号		2274		昨年度整理番号		211			
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分		既定事業			
事務事業の概要	事業開始		平成16年度		実行計画事業		目標 04		施策 16		計画事業 02		主要事業(区政経営報告書掲載事業)				
	平成29年度担当課名		障害者生活支援課										事業評価区分 一般				
	対象		就労を希望する障害者				根拠法令等		(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律						
									(2)		杉並区障害者職場実習実施要綱						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		障害者施設等で働く障害者に対し、様々な取組や支援を行ない一般就労を進めていく。障害者施設で働く障害者の自立の促進のために、工賃の向上を目指す。				活動指標		指標名(1)		職場実習をした人数						
										指標説明		すぎなみ仕事ねっと定例会への参加延べ人数					
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		就労を希望する障害者に対し、障害者雇用支援事業団と連携して実習の場を提供する。ワークチャレンジ事業を通じてより実践的な就労体験の場を提供する。障害者施設の工賃の向上に必要なアドバイス等が受けられるカウンセリングの実施に加え、障害者施設で構成される任意団体(すぎなみ仕事ねっと)への補助を行う。				成果指標		指標名(1)		民間作業所、障害者雇用支援事業団、特別支援学校から就職した人数							
										指標説明		区内障害者施設の平均工賃					
										指標説明		区内26か所の就労継続事業所の総工賃額÷工賃を支払った人数(29年度は推計値)					
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標(1)		1	人	60	53	40	53	35	53	66.0						
	活動指標(2)		2	人	329	330	360	330	320	330	97.0						
	成果指標(1)		3	人	90	110	79	110	89	115	80.9						
	成果指標(2)		4	円	13,819	14,485	14,647	15,086	14,448	15,348	95.8						
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	29,907	39,976	33,572	33,287	19,668	1,715	平成29年度	59.1					
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費		7	千円	54	71	48	27	25	26	執行率90%未満の理由						
	職員数	常勤職員数		8	人	1.18	1.18	1.15	1.14	0.97	1.29	パート職員の雇用人数減による、人件費の残です。					
		再任用職員数		9	人	1.00	1.00	1.09	1.05	1.05	0.00						
		非常勤職員数		10	人	7.00	7.00	7.59	7.59	8.00	7.00						
	人件費	常勤職員分		11	千円	10,321	10,321	9,846	9,761	8,333	11,082						
		再任用職員分		12	千円	4,139	4,139	4,785	4,610	4,649	0						
		非常勤職員分		13	千円	20,545	20,545	22,550	22,550	23,552	20,608						
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	64,912	74,981	70,753	70,208	56,202	33,405							
	単位当たりコスト(14÷6÷1)		15	円	1,081,867	1,414,736	1,768,825	1,324,679	1,605,771	630,283							
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等		18	千円	308	308	308	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	308	308	308	0	0	0								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	64,604	74,673	70,445	70,208	56,202	33,405								
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号 216			
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		職場実習	35	人	258
		すぎなみワークチャレンジ事業	15	人	15,721
		障害者施設の工賃アップ支援	1	式	3,689
		その他（ ）			
平成29年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>職場実習では、体験型実習の割合が62.9%です。ワークチャレンジ事業では区役所での就労体験を生かし、事業退職者10人中6名が一般就労しました。工賃アップ支援では、任意団体である「すぎなみ仕事ねっと」への運営支援を行うとともに、民間企業との協働事業を通して、障害者施設の工賃に関する取組を活性化しました。平成29年度途中に開設した障害者就労施設の運営が軌道に乗るまでに時間を要したことから平均工賃の伸びは平成28年度比1.4%減になりました。また、杉並区の優先調達方針を策定し、庁内からの受注や物品調達を推進しました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成25年、30年に障害者の法定雇用率が、民間企業で2.0%、2.2%に引き上げられ、障害者の雇用が進みました。また平成28年4月から精神障害者を雇用率に算定できることになり、精神障害者の就労が大幅に進みました。平成24年6月に「東京都工賃向上計画」を策定し工賃向上の取組を推進してきました。杉並区では、平成18年から作業所の工賃アップを目的とした障害者施設で構成する任意団体「すぎなみ仕事ねっと」の支援を行っています。平成27年度からは、障害者施設の更なる工賃アップと「すぎなみ仕事ねっと」のネットワーク強化を図るため、民間企業との協働事業に取り組みました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>就労を希望する障害者に対して、本人の希望や障害特性を考慮したきめ細やかな就労支援について要望が寄せられています。また、就労継続支援事業所や企業に就職している障害者の高齢化に伴う作業能力の低下への支援や就労後の居場所の確保が求められています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>一般就労については、平成30年度に障害者総合支援法及び障害者雇用法が改正に伴い、障害福祉サービス内容の変更と障害者の就労及び定着支援が強化されたことにより、就労希望者と企業とのマッチングが図られ、障害者の就労支援が充実します。また、本人にあった就労に結び付くよう職場体験の機会が充実されています。障害者優先調達推進法を活用して物品調達及び役務の受注を増やし、障害者施設の工賃アップが図られます。また「すぎなみ仕事ねっと」のネットワークを活用した情報交換、事例検討を通じ施設間の連携強化と受注作業の増加及び質の向上により障害者施設の活性化が促進されます。</p>			
評価と課題		<p>「すぎなみ仕事ねっと」と連携し、工賃アップに取り組みましたが、平成29年度途中に開設した障害者就労施設の運営が軌道に乗るまでに時間を要したことから目標値を達成できませんでした。今後、新規に開設する事業所に対して事前の事業計画や運営方針等を踏まえ、工賃確保に向けた助言等を行います。職場実習の利用者が減少していることから、障害者の就労への意欲を高め就労先の選択に活かせるよう、これまでの取組の検証と見直しを図ります。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	縮小		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>障害者施設等で働く障害者の就労意欲を喚起したり、働くことを希望している障害者に就労体験の機会を提供することで一人ひとりにあった就労に結び付くよう、実習の場を提供していきます。ワークチャレンジ事業については、利用定員に満たない状況が続いていることから、今後導入が予定されている雇用制度を踏まえて、関係課と検討を行い定員規模等を含めた事業の見直しを図ります。</p> <p>障害者施設の工賃アップについては、「すぎなみ仕事ねっと」のネットワークを活用して施設間での連携を強化し、定例会を活用した情報共有や研修会を開催することにより、民間事業所職員のスキルアップ向上を図るとともに、「すぎなみ仕事ねっと」の自立した運営に向けた取組を促進します。また、障害者施設の活動内容を区民や区内事業者などに対して周知を図り、物品販売や請負作業に結び付け、都の平均工賃を上回れるよう取り組みます。</p>			

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 224

平成29年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	障害者スポーツ・レクリエーション事業実施	1	回
(2) 事業実績	<p>区内に在住、在勤、通所等をしている障害者及びその家族・支援者等を主な対象として、ボッチャ卓球バレー、車いす卓球等の体験会・講習会を実施し、障害者がスポーツ・レクリエーションに親しむ機会を提供しました。 また、障害者ダーツ関係団体と連携して、大会開催の準備を行い、障害者ダーツの普及啓発に取り組みました。</p>			
	その他（事務費等）			297

事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成26年に東京オリンピック・パラリンピックが平成32年（2020年）に開催される旨の決定を受け、スポーツへの関心が高まるこの機会に障害者の社会参加の機会を拡大するため、平成27年度から障害者スポーツ・レクリエーション活動を支援するための方策の検討を開始しました。 平成27年度に実施した障害者スポーツ・レクリエーション実態調査の結果及び区内における障害者スポーツ・レクリエーションの実施状況等を踏まえ、平成28年度から障害者スポーツ・レクリエーション事業の委託実施を開始しました。</p>
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>より多くの障害者の社会参加の機会を拡大するためには、競技性の高い障害者スポーツより、障害の程度にかかわらず、誰もが気軽に参加することができる障害者レクリエーション活動への支援を重点的に実施していくことが必要との意見があります。 障害者スポーツ・レクリエーション事業に参加した障害者やその関係者からは、このような取組を継続して実施してもらいたいとの意見があります。 また、スポーツ施設だけでなく、普段障害者が通い慣れた場所でスポーツ・レクリエーションを行ってほしいとの声がありました。</p>
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、障害者スポーツ・レクリエーションを含め、スポーツに対する関心はますます高まっています。障害の有無・程度にかかわらず、より多くの方が気軽に参加できるよう、障害者スポーツ・レクリエーション事業の、効果的な運用を検討・実施します。また、障害者が日中活動している施設や各種イベントなどにおいて事業を実施するなど機会の拡大を図ります。</p>
評価と課題	<p>障害者スポーツ・レクリエーションに親しむ機会を増やすことは、障害者の社会参加を促進し、障害者本人が自己実現する可能性を秘めており、障害のない人にも、障害への理解を深めるきっかけとなります。 平成29年度は、スポーツ・レクリエーション振興事業をスポーツ施設で実施しました。今後は、より多くの障害者がスポーツ活動等始めるきっかけとなるよう、障害者が日中活動している施設、各種イベントでの出前教室などを実施していきます。さらに、障害当事者等がスポーツ施設等の設備や事業をモニタリングするなど、障害者が身近な施設を利用しやすい環境づくりを進めます。</p>	

翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
翌年度の方針	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催をきっかけとして、より多くの障害者がスポーツ活動等始めるきっかけとなるよう、障害者の身近な場所で、誰もが参加しやすい種目のスポーツ・レクリエーションを行えるような機会を充実していきます。 また、障害当事者等がスポーツ施設等のモニタリングなどを行い、当事者目線を取り入れた施設運営ができるよう施設への働きかけるなど、障害者が身近な施設を利用しやすい環境づくりを進めます。</p>	

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00217)

事務事業名称		障害者福祉会館の維持管理				款	04	項	01	目	06	事業	001	整理番号	231	
現担当課名		障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	226				
上位施策No・施策名											16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和57年度														
	平成29年度担当課名	障害者生活支援課				事業評価区分	施設維持管理									
	対象	障害者福祉会館及びその利用者				根拠法令等	(1)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例							
							(2)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適な環境の中で、各種教室等への参加や活動を行うことができるよう施設の維持管理をする。				活動指標	指標名(1)		施設の延べ床面積							
						指標説明		保守委託契約件数								
						指標名(2)										
						指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。				成果指標	指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	m ²	1,744	1,744	1,744	1,744	1,744	100.0							
	活動指標(2)	2	件	9	9	9	9	9	100.0							
	成果指標(1)	3														
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	26,721	34,603	29,570	26,455	23,956	29,731	平成29年度予算執行率(%)	90.6					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	18,300	20,764	17,947	18,435	17,749	22,271	前年度事業費から10%以上減少があった理由						
	職員数	常勤職員数	8	人	0.12	0.12	0.23	0.23	0.22	0.21	平成28年度に単年度契約で非常照明用アルカリ蓄電池交換修理を行い、4,838,400円の支出がありました。一方、平成29年度には大規模な修繕がなかったため事業費が減少しました。					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40						
	人件費	常勤職員分	11	千円	1,050	1,050	1,969	1,969	1,890	1,804						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	1,174	1,174	1,188	1,188	1,178	1,178						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	28,945	36,827	32,727	29,612	27,024	32,713							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	16,597	21,116	18,765	16,979	15,495	18,757							
	財源	受益者負担分	16	千円	23	25	30	30	28	30						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	23	25	30	30	28	30							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	28,922	36,802	32,697	29,582	26,996	32,683							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1								

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	231	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託		1	所	17,284
		光熱水費		1	所	5,374
		維持管理経費等		1	所	833
	その他（通信運搬費）				465	
(2) 事業実績	平成25年度より、障害者福祉会館3階に杉並区障害者地域相談支援センター（すまいる高井戸）が入り、建物の保守管理や定期清掃等維持管理については1階の障害者雇用支援事業団とともに三者で連携を図っています。また、節電にも積極的に取り組んでいます。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
	今後の予測					
	評価と課題	<p>利用者の安全で快適な環境を確保するため、障害者福祉会館運営協議会と連携を密にして、施設の保守管理に注意を払うとともに、備品類の効果的な利用や光熱水費の節減等に努めています。このため、施設内で大きな事故もなく、多くの利用者からは安心して施設を利用できると喜ばれています。しかし、施設の老朽化に伴う設備の不具合等も増えてきており、適正な維持管理を実施します。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性				
		II 事業の改善の方向性				
今後の進め方						

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00683）

事務事業名称		視覚障害者会館の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	002	整理番号	232	
現担当課名		障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	227			
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成57年度													
	平成29年度担当課名	障害者生活支援課			事業評価区分	施設維持管理									
	対象	視覚障害者会館及びその利用者			根拠法令等	(1)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例							
						(2)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	利用者が安全で快適な環境の中で活動できるよう施設を維持管理する。			活動指標	指標名（1）		施設延床面積							
					指標説明										
					指標名（2）		保守委託契約件数								
					指標説明										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。			成果指標	指標名（1）										
					指標説明										
					指標名（2）										
					指標説明										
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度						
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）						
指標	活動指標（1）	1	m ²	167	167	167	167	167	167	100.0					
	活動指標（2）	2	件	4	4	4	4	4	4	100.0					
	成果指標（1）	3													
	成果指標（2）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	1,925	2,136	1,633	2,026	1,631	1,870	平成29年度予算執行率（%）	80.5				
	（内）投資的経費等	6	千円							特記事項 執行率90%未満の理由 光熱水費の残によるものです。					
	（内）委託費	7	千円	877	1,005	895	1,015	896	1,037						
	職員数	常勤職員数	8	人	0.12	0.12	0.12	0.11	0.11						0.11
		再任用職員数	9	人											
		非常勤職員数	10	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						0.10
	人件費	常勤職員分	11	千円	1,050	1,050	1,027	942	945						945
		再任用職員分	12	千円											
		非常勤職員分	13	千円	294	294	297	297	294						294
	総事業費	14	千円	3,269	3,480	2,957	3,265	2,870	3,109						
	単位当たりコスト	15	円	19,575	20,838	17,707	19,551	17,186	18,617						
	財源	受益者負担分	16	千円											
		国からの補助金等	17	千円	748	716	608	752	632						670
		都からの補助金等	18	千円	374	357	304	375	316						335
その他の補助金等		19	千円												
特定財源計		20	千円	1,122	1,073	912	1,127	948	1,005						
差引：一般財源		21	千円	2,147	2,407	2,045	2,138	1,922	2,104						
受益者負担比率	22	%													

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 232

平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		施設保守管理委託	1	所	735
		光熱水費	1	所	690
		維持管理経費等	1	所	206
		その他()			
(2) 事業実績	視覚障害者会館の維持管理は、平成27年度より指定管理者制度から業務委託に変更したNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会と連携し、利用者の安全安心と快適性の確保に努めています。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
評価と課題	<p>利用者の安全で快適な環境を確保するため、NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会と連携を密にして、施設の保守管理に注意を払うとともに、光熱水費の節減等に努めてきました。このため、施設内で大きな事故もなく、多くの利用者からは安心して施設を利用できると喜ばれています。</p> <p>しかし、施設の老朽化に伴う設備の不具合等も増えてきており、適正な維持管理を実施します。</p>	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00218)

事務事業名称		障害者交流館維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	003	整理番号	233		
現担当課名		障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	228				
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	平成7年度														
	平成29年度担当課名	障害者生活支援課										事業評価区分	施設維持管理			
	対象	和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の利用者			根拠法令等	(1)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例								
						(2)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適な環境の中で活動できるよう施設を維持管理する。			活動指標	指標名(1)		施設延床面積(2施設合計)								
					指標名(2)		保守委託契約件数									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	利用者にとって快適な施設を維持するために、機械設備の保守点検等を実施する。			指標説明												
				成果指標	指標名(1)											
					指標名(2)											
					指標説明											
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	m ²	693	693	693	693	693	693	100.0						
	活動指標(2)	2	件	1	1	1	1	1	1	100.0						
	成果指標(1)	3														
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	4,976	5,537	5,037	5,330	5,258	5,516	平成29年度予算執行率(%)	98.6					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	3,089	3,425	3,220	3,275	3,237	3,364							
	職員数	常勤職員数	8	人	0.12	0.12	0.12	0.12	0.11	0.11						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
	人件費	常勤職員分	11	千円	1,050	1,050	1,027	1,027	945	945						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	587	587	594	594	589	589						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	6,613	7,174	6,658	6,951	6,792	7,050							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	9,543	10,352	9,608	10,030	9,801	10,173							
	財源	受益者負担分	16	千円	516	510	523	550	522	550						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	516	510	523	550	522	550							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	6,097	6,664	6,135	6,401	6,270	6,500							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	7.8	7.1	7.9	7.9	7.7	7.8								

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 233

平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		施設保守管理委託	1	所	3,175
		光熱水費	1	所	2,021
		維持管理経費ほか	1	所	62
		その他()			
(2) 事業実績	<p>障害者交流館の維持管理については、業務委託をしている杉並区障害者団体連合会と連携し行っています。高円寺障害者交流館は、同じ建物の中に高円寺事務所、障害者地域相談支援センター(すまいる高円寺)があり、施設全体で利用者の安全安心と快適性の確保に努めています。また、和田障害者交流館についても、和田小学校の一部を区民集会所と併設で目的外使用し、高円寺障害者交流館と同様な内容で行っています。和田障害者交流館では平成29年度に照明器具の交換を行い、節電にも積極的に取り組んでいます。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
評価と課題	<p>利用者の安全で快適な環境を確保するため、業務委託している杉並区障害者団体連合会と連携を密にして、施設の保守管理に努めています。その結果、施設内で大きな事故もなく、多くの利用者から安心して施設を利用できると言われています。</p> <p>高円寺交流館については、駐輪スペースが狭いため、必要に応じて駐車スペースの一部を駐輪スペースとするなどの工夫を図っています。</p>	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00219)

事務事業名称 障害者施設運営			款 04	項 01	目 06	事業 004	整理番号 234				
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2273			昨年度整理番号 229					
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始										
	平成29年度担当課名 障害者生活支援課					事業評価区分 其他簡易な評価					
	対象 区が有する障害者福祉施設等(生活園を除く)	根拠法令等 (1) 契約事務規則 (2) 会計事務規則									
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか) 効率的かつ効果的な事務事業の執行による障害者福祉施設の側面支援、障害者福祉行政の充実を図る。	活動指標 指標名(1) 障害者生活支援課本庁職員 指標説明 指標名(2) 需用費(一般需用費)合計									
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段) 施設運営に必要な事務用品、書籍、印刷用品を購入する。 各園の事業運営や維持管理に含めることが難しい運営に必要な諸事務経費(区有施設である「あけぼの作業所」の樹木剪定、研究会負担金等)の支援を行う。	成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)									
区分	単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度			
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)			
指標	活動指標(1)	1	人	9	9	9	10	10	10	100.0	
	活動指標(2)	2	円	1,876	3,075	2,911	1,856	1,182	5,260	63.7	
	成果指標(1)	3									
	成果指標(2)	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	7,879	8,757	8,381	7,523	6,645	10,974	平成29年度 予算執行率(%) 88.3	
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 執行率90%未満の理由 区有施設における施設 修繕費の残です。 前年度事業費からの増 理由 30年度に区有施設(あ すなる作業所)で空調 機修繕を319万円で予 定しています。	
	(内)委託費	7	千円	2,922	2,562	2,402	2,553	2,420	2,586		
	職員数	常勤職員数	8	人	0.59	0.59	0.57	0.57	0.54		0.32
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40		0.40
	人件費	常勤職員分	11	千円	5,161	5,161	4,880	4,880	4,639		2,749
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13	千円	1,174	1,174	1,188	1,188	1,178		1,178
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	14,214	15,092	14,449	13,591	12,462	14,901		
	単位当たりコスト (14÷6÷1)	15	円	1,579,333	1,676,889	1,605,444	1,359,100	1,246,200	1,490,100		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 (14-20)		21	千円	14,214	15,092	14,449	13,591	12,462	14,901		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	234	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単 位	事業費（千円）
		樹木管理委託等	1	所	2,332	
		光熱水費（あすなる作業所・障害者生活支援課分室）				2,833
		一般購入・施設修繕等				1,270
		その他（研究会負担金、報償費の支出ほか）				210
	(2) 事業実績	本庁職員が施設運営に必要な事務用品、書籍、印刷用品の購入のほか、各生活園の事業運営において維持管理に含めることが難しい運営に必要な諸事務を行っています。委託料は区有施設「あけぼの作業所」の樹木剪定費で、施設及び近隣の住環境の維持向上を図っています。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
	今後の予測					
	評価と課題	区有施設はいずれも建物が老朽化し、小規模修繕が増えています。運営に必要な諸事務・諸経費のため大きな改善・改革は難しいですが、不要不急な経費の支出や必要性の薄れたものの支出について、常に見直しを行っていきます。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性				
		II 事業の改善の方向性				
	今後の進め方					

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00220)

事務事業名称		すぎのき生活園の維持管理				款	04	項	01	目	06	事業	005	整理番号	235	
現担当課名		障害者生活支援課		係名	すぎのき生活園			連絡先電話番号	3399-8953		昨年度整理番号	230				
上位施策No・施策名											16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和55年度														
	平成29年度担当課名	障害者生活支援課				事業評価区分		施設維持管理								
	対象	すぎのき生活園の利用者			根拠法令等	(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律								
						(2)		杉並区立すぎのき生活園条例								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。			活動指標	指標名(1)		延べ床面積								
					指標説明		保守委託契約件数									
					指標名(2)											
					指標説明											
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	利用者が安全で快適に過ごせるようにするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。			成果指標	指標名(1)											
					指標説明											
					指標名(2)											
					指標説明											
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	m ²	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	100.0						
	活動指標(2)	2	件	10	10	10	12	12	12	100.0						
	成果指標(1)	3														
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	25,828	28,918	25,754	26,545	24,199	26,012	平成29年度予算執行率(%)	91.2					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	13,481	13,944	13,191	14,377	13,621	15,181							
	職員数	常勤職員数	8	人	2.74	2.74	2.73	2.73	1.83	1.71						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	1.20	1.30	1.20	1.20	1.20	2.20						
	人件費	常勤職員分	11	千円	23,967	23,967	23,374	23,374	15,722	14,691						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	3,522	3,816	3,565	3,565	3,533	6,477						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	53,317	56,701	52,693	53,484	43,454	47,180							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	21,923	23,315	21,667	21,992	17,868	19,400							
	財源	受益者負担分	16	千円	3	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	3	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	53,314	56,701	52,693	53,484	43,454	47,180							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	235
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託	1	所	12,628
		光熱水費	1	所	8,372
		維持管理経費等	1	所	3,199
	その他（ ）				
(2) 事業実績	<p>すぎのき棟36年、けやき棟25年を経過し、施設の設備や機器に不具合が生じており、すぎのき棟では厨房水栓不良修理、汚水管詰まり修理、相談室空調機器修理、受水槽バルブ交換、活動室水栓修理、外蛇口修理、階段ノンスリップ修理、けやき棟では厨房フィルター交換、昇降機電灯交換、多目的トイレ水漏れ修理、給水ポンプ部品交換など修理を行いました。その他予算内の修繕費では対応できないため、営繕課に依頼し、すぎのき棟給食厨房取り換え工事及びけやき棟食堂給湯器取り換え工事を行いました。また、営繕課予算で照明機器の取り換え工事を実施しました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
評価と課題	<p>利用者の3分の1以上が重複障害者ですが、施設の仕様が身体障害者の利用に対応していない現状があります。また、車椅子や杖歩行等の利用者と動きの激しい知的障害の利用者が同じスペースで活動することは、ぶつかる等の危険があること、利用者への活動制限にもつながることから、障害の状況に応じたスペースの確保や適切な設備の設置に努めます。</p> <p>すぎのき棟の建物は築37年を迎え、毎年修繕工事を行っており、水道配管の老朽化により常時不具合が生じています。平成29年度は降雪により給湯器が故障するなど運営に大きく影響が出ています。通所施設のため、運営しながらの修繕は不可能であり、運営を一時休止することも難しいため、早期に施設再編整備計画への計画化を行い、改築等を進めていきます。</p>				
中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
	今後の進め方	II 事業の改善の方向性			

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00221)

事務事業名称		こすもす生活園の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	006	整理番号	236	
現担当課名		障害者生活支援課		係名	こすもす生活園			連絡先電話番号	3317-9312		昨年度整理番号	231			
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実			予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成5年度													
	平成29年度担当課名	障害者生活支援課										事業評価区分	施設維持管理		
	対象	こすもす生活園の利用者			根拠法令等	(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律							
						(2)		杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。			活動指標	指標名(1)		施設の延床面積							
					指標説明		保守委託契約件数								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)			指標名(2)	指標説明										
	利用者が安全で快適に過ごせるようにするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。			成果指標	指標名(1)										
					指標説明										
				指標名(2)	指標説明										
					指標説明										
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	m ²	794	794	794	794	794	794	100.0					
	活動指標(2)	2	件	7	7	7	8	8	8	100.0					
	成果指標(1)	3													
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	8,676	11,056	8,973	9,632	8,039	10,783	平成29年度予算執行率(%)	83.5				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	4,017	4,426	4,090	4,808	4,462	4,994	執行率90%未満の理由 光熱水費の残によるものです。					
	職員数	常勤職員数	8	人	0.74	0.74	0.73	0.73	0.50	0.50					
		再任用職員数	9	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00					
		非常勤職員数	10	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20					
	人件費	常勤職員分	11	千円	6,473	6,473	6,250	6,250	4,296	4,296					
		再任用職員分	12	千円	4,139	4,139	4,390	4,390	4,428	4,428					
		非常勤職員分	13	千円	587	587	594	594	589	589					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	19,875	22,255	20,207	20,866	17,352	20,096						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	25,031	28,029	25,450	26,280	21,854	25,310						
	財源	受益者負担分	16	千円	64	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	64	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	19,811	22,255	20,207	20,866	17,352	20,096						
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	236
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		施設保守管理委託	1	所	3,613
		光熱水費	1	所	2,800
		維持管理経費等	1	所	1,626
	その他()				
(2) 事業実績	厨房混合水栓の修理、活動室ブラインド等修理、自動火災報知設備予備電源修理、厨房配膳台修理、浴槽修理、介助用リフト修理、厨房配膳車キャスター他修理、起立訓練ベッド修理、厨房休憩室置交換、及び近隣からの要望によりプラタナス伐採を行いました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)				
	今後の予測				
評価と課題	開設から25年が経過し、施設や設備面が老朽化しています。利用者の安全を確保するため、水回りや照明設備などの改修や修理が必要となっています。 利用者の障害の重度化・重複化のため、使用する車いすも大型化しており活動のスペースが限られています。利用者間の接触トラブルを防ぐため、対象者に応じた環境の整備や動きを想定した点検も必要です。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性			
	今後の進め方	II 事業の改善の方向性			

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(0022)

事務事業名称		なのはな生活園の維持管理				款	04	項	01	目	06	事業	007	整理番号	237	
現担当課名		障害者生活支援課		係名	なのはな生活園			連絡先電話番号	3335-0415		昨年度整理番号	232				
上位施策No・施策名											16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成 9年度														
	平成29年度担当課名	障害者生活支援課				事業評価区分 施設維持管理										
	対象	なのはな生活園の利用者				根拠法令等	(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律							
							(2)		杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。				活動指標	指標名(1)		施設延べ床面積							
						指標名(2)		保守委託契約件数								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)				指標説明											
	利用者が安全で快適に過ごせるようにするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。				成果指標	指標名(1)										
						指標名(2)										
						指標説明										
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	m ²	1,019	1,019	1,019	1,019	1,019	1,019	100.0						
	活動指標(2)	2	件	9	9	9	10	10	10	100.0						
	成果指標(1)	3														
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	12,381	16,209	14,063	12,647	10,986	12,816	平成29年度予算執行率(%)	86.9					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	5,891	5,808	5,285	6,053	5,277	6,722	執行残の主なものは光熱水費の残によるものです。						
	職員数	常勤職員数	8	人	1.74	1.74	1.26	1.23	1.23	1.71						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.50	0.53	0.53	0.52	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
	人件費	常勤職員分	11	千円	15,220	15,220	10,788	10,531	10,567	14,691						
		再任用職員分	12	千円	0	2,070	2,327	2,327	2,303	0						
		非常勤職員分	13	千円	587	587	594	594	589	589						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	28,188	34,086	27,772	26,099	24,445	28,096							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	27,662	33,450	27,254	25,612	23,989	27,572							
	財源	受益者負担分	16	千円	5	3	5	4	4	4						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	5	3	5	4	4	4							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	28,183	34,083	27,767	26,095	24,441	28,092							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	237	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託		1	所	4,836
		光熱水費		1	所	4,502
		維持管理経費等		1	所	1,648
	その他（ ）					
(2) 事業実績	<p>敷地内の樹木等の管理については「みどりのボランティア」に樹木選定や除草などを依頼し、景観と安全面や衛生面での管理を行っています。 清掃を障害者の事業所に委託し、障害者雇用の拡大を図るとともにコスト削減を実行しています。 ストレッチャー1台を追加購入し、利用者の排泄や移動、リラクゼーションなど、より迅速な対応につながりました。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
	今後の予測					
評価と課題	<p>開設より19年目を向かえ、施設や設備の老朽化が進んでいます。利用者が安全で快適にすごせるように、日頃の管理や定期的な点検及び修繕を行うことが必要となっています。 入浴備品（浴槽）の耐用年数7年を大幅に超えています。入浴サービスのニーズは高く、安定したサービスを提供するために、入浴設備の修繕及び改修を進めます。また、施設の老朽化によって照明器具（安定器）の故障が多く修繕費の60%を占めています。 今後も医療的ケアや重度の卒業生の増加が予想されます。安全で安定したサービスを提供するためバスの運行内容や施設環境の整備を検討していきます。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性				
	今後の進め方	II 事業の改善の方向性				

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00231）

事務事業名称 障害者入所・通所施設の整備			款 04	項 01	目 07	事業 004	整理番号 246			
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2277			昨年度整理番号 241				
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成11年度	実行計画事業 目標 04 施策 16 計画事業 01			主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成29年度担当課名	障害者生活支援課				事業評価区分 一般				
	対象	障害者通所施設を整備する社会福祉法人		根拠法令等 (1) (2)	社会福祉法第6条 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第7項					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	重度障害者の日中活動の場を確保するため、生活介護事業等を行う通所施設の整備を進め、障害者の豊かな地域生活を実現する。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	区内重度障害者通所施設の数					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	区有地等を活用し、社会福祉法人が整備する障害者通所施設に対し、整備費を助成することにより、重度障害者の日中活動の場を確保する。 平成29年度未現在、区内では重度障害者の通所施設8施設（知的4・身体4・うち5施設は民間施設）を運営している。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	区内重度障害者通所施設の受入者数					
区分		単位	平成27年度 実績	平成28年度 計画 実績		平成29年度 計画 実績 （目標値）	平成30年度 計画	平成29年度 対計画比（%）		
指標	活動指標（1）	1 所	7	7	7	8	8	8	100.0	
	活動指標（2）	2								
	成果指標（1）	3 名	196	196	196	196	198	220	101.0	
	成果指標（2）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	42,257	49,802	42,529	70,242	70,239	70,241	平成29年度 予算執行率（%） 100.0	
	（内）投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	（内）委託費	7 千円	0	0	0	6,190	6,190	0		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.35	0.35	0.23	0.34	0.32	0.64	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.30	0.30	0.60	
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.30	0.10	0.20	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11 千円	3,061	3,061	1,969	2,911	2,749	5,498	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	1,317	1,328	2,657	
		非常勤職員分	13 千円	0	881	297	594	0	0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	45,318	53,744	44,795	75,064	74,316	78,396		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	6,474,000	7,677,714	6,399,286	9,383,000	9,289,500	9,799,500		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	45,318	53,744	44,795	75,064	74,316	78,396		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	246
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		旧永福南小学校跡地施設建設費への助成	1	所	28,839
		すだちの里杉並・運営法人への償還金助成	1	所	18,447
		マイルドハート高円寺・運営法人への償還金助成	1	所	22,953
		その他（ ）			
(2) 事業実績	<p>旧永福南小学校跡地に建設を行った「永福南社会福祉ガーデン」（特別養護老人ホーム等と併設）の整備・運営法人に対して、施設建設に係る経費の一部を助成しました。 また、重度障害者支援施設等を整備・運営している社会福祉法人に対し、借入償還金の一部に助成を行いました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>重い障害があっても、障害者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう重度障害者の入所・通所施設の整備を行なっています。施設整備にあたっては、民間事業者の負担軽減のため、整備費等の助成を行なっています。これまでに入所・通所施設2所を整備してきました。平成29年度には、重度身体障害者入所・通所施設を開設しました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>特別支援学校の在校生の父母からは、卒業後の日中活動のとして、通所施設の整備に対する要望が寄せられています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>今後も、毎年5～7名程度の特別支援学校の卒業生が見込まれており、日中活動の支援を行う通所施設のさらなる確保が必要となっています。また、既存施設の老朽化も目立ってきており、これら施設の建替えも視野に入れ、区全体の受入れ枠を確保する必要があります。 さらに、既存施設において障害者の高齢化、重度化が進んでいることから、これらの方々への医療的なケアを含む支援の必要度が増しています。</p>			
評価と課題	<p>重度障害者施設の整備にあたっては、用地の確保や整備経費の負担が課題となっています。区有地を活用するとともに国の補助金を活用、さらに区としても整備費用の一部を助成することで、整備・運営を行う社会福祉法人の負担を軽減し、整備を促進しています。 また、今後は東京都独自の整備費補助などの活用も視野に入れ、様々な手法により負担の軽減を図り、整備を推進します。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>平成31年度は、区有地を活用した重度知的障害者複合施設（グループホーム、生活介護等）と、重度身体障害者通所施設が開所します。整備・運営を行う民間事業者と連携し、着実に整備を推進するとともに、運営の安定化とサービスの質の向上に取り組みます。 今後は国公有地等について国や都と協議を行い、更なる整備を進めます。</p>				

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00741）

事務事業名称 障害者施設建設（上井草保育園跡地）				款 04	項 01	目 07	事業 032	整理番号 255		
現担当課名 障害者生活支援課			係名 障害者生活支援課			連絡先電話番号 2277		昨年度整理番号		
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 投資事業				
事務事業の概要	事業開始	平成29年度	実行計画事業	目標 04	施策 16	計画事業 01				
	平成29年度担当課名	障害者生活支援課					事業評価区分	一般		
	対象	上井草保育園跡地			根拠法令等	(1) (2)				
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	測量調査委託及び解体実施設計委託			活動指標	指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	測量調査委託及び解体実施設計委託を実施する。			成果指標	指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明				
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度	
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	
指標	活動指標（1）	1								
	活動指標（2）	2								
	成果指標（1）	3								
	成果指標（2）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円			3,358	3,305	30,350	平成29年度 予算執行率(%) 98.4	
	(内) 投資的経費等	6	千円			0	0	0	特記事項	
	(内) 委託費	7	千円			3,358	3,305	30,350		
	職員数	常勤職員数	8	人			0.00	0.11	0.00	
		再任用職員数	9	人			0.00	0.10	0.00	
		非常勤職員数	10	人			0.00	0.10	0.00	
	人件費	常勤職員分	11	千円			0	945	0	
		再任用職員分	12	千円			0	443	0	
		非常勤職員分	13	千円			0	294	0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円			3,358	4,987	30,350		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円			0	0	0		
	財源	受益者負担分	16	千円			0	0	0	
		国からの補助金等	17	千円			0	0	0	
		都からの補助金等	18	千円			0	0	0	
その他の補助金等		19	千円			0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円			0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円			3,358	4,987	30,350		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%			0.0	0.0	0.0			

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 255

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	測量調査・解体実施設計委託			3,305
	(2) 事業実績	上井草保育園の跡地を活用した重度身体障害者通所施設の整備計画に伴い、測量調査及び保育園の解体実施設計を実施しました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	平成28年度、上井草保育園跡地に重度身体障害者通所施設を整備することを計画し、平成29年度に施設整備運営事業者を選定しました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	障害者施設の整備にあたり、敷地内にある桜の木を残してほしいという要望が近隣住民から寄せられています。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	平成30年度に上井草保育園が移転することから、その後保育園の解体、障害者施設の建設工事が実施されます。平成31年度途中に重度身体障害者通所施設が開所します。			
	評価と課題	施設の整備にあたり、近隣住民には、住民説明会や、必要に応じて個別の説明を行ってきました。また桜の木については、3本のうち1本を残すことで住民の理解を得ています。今後工事に係る要望書が寄せられることが見込まれますが、整備運営事業者と連携して丁寧な対応を行っていきます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	対象外		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	保育園の解体工事は区が実施します。その後の障害者施設については事業者が主体となり取り組んでいきます。			